2025-後学期

令和 6 年度メディア情報学 プログラミング演習 グループプログラミング レポート

料理提供ゲーム「MiniCook」

学科	情報理工学域
クラス	J1
グループ番号	26
2210259	米谷 祐希
2210730	鈴木 早紀
2210743	吉田 陽音

1 概要説明

このゲームは、レストランで働くプレイヤーが、制限時間内に料理を作るゲームである。以下の料理提供までの手順を繰り返すことでポイントを獲得し、制限時間終了時にスコアとランクが表示される。

1. オーダーの確認

まず、画面上部にランダムにオーダーが提示される。オーダーには、使う食材と調理方法が記載されている。各オーダーにはそれぞれ制限時間が設定されており、残り時間はオーダー上のゲージにリアルタイムに表示される。

2. 食材の調理

次に、オーダーに記載されている食材を、各食材ボックスから取り出す。各食材を持ったまま、 各調理器具の前でアクションボタンを押すことで、食材が加工される。

3. 料理の完成と提供

料理は、加工された食材とお皿を組み合わせることで完成する。それらを組み合わせて料理ができあがれば、提供口に置くことで提供となり、オーダーと一致しているか判定される。一致していれば加点、間違っていれば減点となる。

また、ゲームは 3 画面に分かれており、スタート画面、ゲーム画面、リザルト画面がある。また、各画面や各動作には BGM や効果音がついている。操作はキーボードの W,A,S,D,J,K,Space キーを用いている。

作業は GitHub を用い保存・共有を行った。米谷が Model と全体の管理、鈴木が View、吉田が Controller を主に担当したが、最終的には各自の担当領域を超えて協力しながら取り組んだ。文責:鈴木

2 設計方針

図1にクラス図を示す。

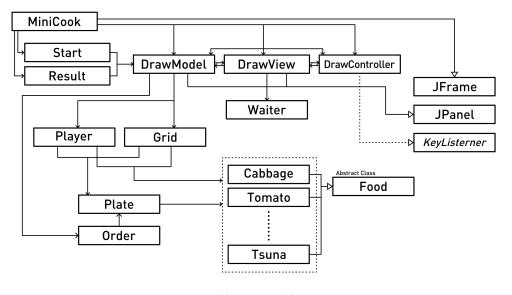


図1 クラス図

クラス図に示しているように、MiniCook というクラスが大元のクラスとなっている。その中でインス

タンスとして5つのクラスを保持している。Start クラス・Result クラスはゲーム開始前の画面と、ゲーム終了時にスコアの表示等を行うためのクラスである。そして設計方針について、このゲームはプレイヤーがオーダーに従って各種料理をつくる。その中で、プレイヤーは皿や食材をいろんな座標に置くというプロセスが起きる。それに適応、そして拡張性を保つような構成にした。詳細に関しては以下で説明する。今回のプログラムは大量生産するインスタンスが存在しないという想定を最初の構想で予測したためObserver モデルは用いずに、基本的な MVC モデルを元にして作成した。

Model

DrawModel クラスでは、各種データの管理とそれに伴ったメソッドの提供をおこなった。基本的にゲームの情報は各種クラスから Model に参照されて提供する。Player, Grid などの基盤にあるようなクラスはここでインスタンスを作成している。

• View

DrawView では、Model クラスより取得した情報を元に一括で描画処理を行う。フィールドのどの場所にどの物を描画するかの元情報を Model より取得。その後その情報を元に画像を View クラスのメソッドを用いて判定して、画像を選択・描画している。当初の予定では、完全に 2D でゲームを作成する予定であったが、途中で擬似 3D にして立体感を出そうという構想が生まれた。しかし View モデルで一括で管理しているおかげで、プログラムの書き直しは最低限に抑えることができた。

• Controller

DrawController クラスでは、基本的にはプレイヤーからの入力の受取のみを行う。それぞれキーボードの入力を受取、それに応じた動作をそれぞれのクラス内のメソッドでおこなってもらう。

しかしゲームに動的なアニメーションを少し付ける都合でキー入力を行いたいときと行いたくないときがある。それに対応するために、あるクラスのメソッドを呼び出すときもあれば、キー入力中に boolean のフラグを用いて、動作先で参照してもらう形になっているものもある。

• Player • Grid

この2つのクラスは、このプログラムのいちばん重要なクラスである。名称が違うもののプレイヤーが食材を保持している場合とあるマス目が食材を持っている(食材を置いている)という違いがあるのみで、ほとんど同じものである。このクラスでは、そのマスないしはプレイヤーがなにを持っているかというクラスをインスタンス変数に保持している。そして、Player に許された行動やGrid(マス目)によってできる。行動についての自身の情報を持っており、それに対応したメソッドを提供している。

• Order

Order クラスでは、画面上部に定期的なタイミングで出現する、提供しなければならない料理の情報を持っているクラスである。注文1つごとにこのクラスが生成されて、その中にオーダーの制限時間、必要な材料などの情報をしている。

• Food

この Food クラスが、食材に関しての最小単位となるクラスである。抽象クラスという定義をしており、これを継承してキャベツであったり、トマトであったりのクラスを作成している。それぞれ継承されたクラスにおいて。それぞれ特有の調理される方法や、調理された情報を保持することができる。これを複数個ミックスして料理となったものが後述する Plate クラスである。

• Plate

この Plate クラスでは、Food クラスをいくつか保持していて、それによって例えばキャベツと

トマトのサラダであったり、魚の切り身と海苔で巻き寿司といったものになる。これが Order に存在していれば正解、なければ不正解という形である。また各マス目と Player は Food クラスを単体で保持して食材を持っていたり、Plate クラスを持っていて、複数の食材からなる料理を持っていたりする。なお正誤判定については Order クラスで行わずこちらで Order クラスの内容を Model を経由して取得して、自分との合致があるかどうかで行っている。

クラス間の関係と全体の参照の流れを説明する。ほどんどの基本の流れは Model クラスを参照して行われる。ユーザーからの入力は DrawController から Model へ、描画は Model を参照して DrawVier クラスな内で行われる。プレイヤーは移動をして該当の場所に移動してアクションを行うことで、Food クラスを新たに生成したり、その場においたり、またそれらを調理してまとめて Plate クラスに保持する。それを提出口に提出した際に、現存しているオーダーとの正誤判定を行いスコアのアップダウンを行う。ここでは説明を省略したが、各種タイミングで SE や BGM を鳴らすようなコードも含まれている。文責:米谷

3 プログラムの説明

以下にクラスとその説明を示す。

• MiniCook

このクラスでは、まず最初に MVC モデルの各種クラスを生成する。そして各種クラスの中にある、getter,setter を利用してそれぞれのクラスを連携させる。それに加えてオーディオの管理のクラスを生成したして、JFrame を用いてウィンドウを立ち上げる。

このインスタンスメソッドとしてスタート画面からゲームが画面に切り替える startGame()であったり、リザルト画面に切り替える showResult() というメソッド等を持っている。public static void main() は個々で宣言がしてあるため、このゲームは static java static MiniCook でスタートする。

文責: 米谷

このクラスでは、CardLayout を用いることで、スタート画面・ゲーム画面・リザルト画面を 1 つのウィンドウで切り替える仕組みを実現している。この CardLayout の仕組みにより、cardLayout.show(panel, "画面名") を呼び出すだけで、異なる画面を簡単に切り替えられる。例えば、スタート画面からゲームを開始する際には startGame() を呼び出し、cardLayout.show(cardPanel, "game") によってゲーム画面へ遷移する。また、ゲーム終了時には showResult() を呼び出し、スコア情報をリザルト画面に反映した上でcardLayout.show(cardPanel, "result") により遷移させている。

また、ゲームの進行に応じて BGM を管理する仕組みも実装した。例えば、restartGame() では audio.playBGM("./sound/music_background2.wav") を呼び出し、ゲーム再開時に適切な BGM を流すようになっている。

文責:吉田

• Model

前の章でも少し触れたが、このクラスではゲームに関する基本的なデータを持っている。インスタンス変数に Grid クラス、Player クラス、order を入れる配列、制限時間を入れる変数などを持つ。 MiniCook クラスより、自身が生成されたとき、Grid と呼ばれる各マスのついての 2 次元配列を作成してそれをフィールドとしている。コンストラクタのその後は、フィールドの壁や障害

物、食材を加工できるツールますであるかという情報を、Grid の変数を変更していくことによって設定していく。基本的な動作は Model を経由して行われるようななっており、例えば player の移動は一旦 Model.movePlayer() が呼ばれた後に、その中で player.move() を呼ぶことでカプセル化をより厳密なものにしている。また order の生成を行う generateOrder() メソッドもここにあり、登録されている料理からランダムなものを生成して、それらのセッティングをしてオーダーを作っている。そのほかにも、オーダーを削除する removeOrder()、スコアの増減に関する scoreUP(),scoreDown() などのインスタンス・メソッドを持っている。

文責:米谷

• Grid

Grid クラスは各マス目 1 マスについてのクラスである。この集合を配列に保持して Model でインスタンス変数に持ってもらう。今回の設計として、あるマスにがあるときはそのグリッドが食材を持っているということになっている。つまり Grid が Food クラスや Plate クラスのオブジェクトを持つということである。そしてそれに伴ったインスタンス変数を作成してそこに代入している。ほかにも、そのマスがツールマスであるかどうかの tool、皿が置かれているかの is Plate Placed などの変数も用意されている。このクラスでは、処理をすることがないので、getter のみのインスタンスメソッドである。

文責:米谷

• Player

Player クラスは基本的なインスタンス変数については Grid クラスと同じである。そのプレイヤーが何を持っているかの変数がある。それに加えて Player ならではの変数が追加されている。プレイヤーの座標である posX,posY や、アニメーションをつけるさいのプレイヤーが今動いているかどうかの moving という変数、プレイヤーの向きを表す direction 等がある。

このクラスでは Grid クラスに加えて、プレイヤーがすることができる各種行動に対応したメソッドが用意されている。

- move()

このメソッドはプレイヤーの座標を変更する。個々では離散的に値を変化させている。アニメーション用の座標は別途用意されていて (view で参照される)、それの値の変化はこの座標に滑らかに一致するようになっている。

- getFrontGrid()

インスタンス変数の direction を参照して、自分が対面している Grid を渡す。

action()

スペースキーを押されたときに呼び出されるメソッド。getFrontGrid より得た Grid の tool を参照して、できる行動が実行される。自分が持っている Food,Plate の中身に対して、食材の状態変数を変化させて食材を加工させている。

$- \operatorname{pick_up}()$

このメソッドはキー入力"J"に対応するメソッドである。同様に front Grid の情報を取得して、そのマスに対応して、皿を持ったり食材を拾ったりする。このゲームに存在する食材が無限に生成される箱の前であれば、目の前の Grid から取得するのではなく、あらたに new Food() として、新たな食材を手にもつ。また複数の食材を一度にもつゲーム性になっているため、ここの条件文によってその食材は一緒にもてるのか、加工されいない状態ではないのかという判定を経て、実行される。

- put()

ものをおいたり、ものを捨てたり、ものを提供したりする関数である。frontGrid の情報を取得して行う。pick_up() と同様に、目の前のマスに関する情報を参照して、可能なアクションをとる、そこに食材が置いてあれば、まとめて新たな食材に変化する関数を内包している。特別な処理としては、カウンターに提供するというイベントが有る。このときは、model にPlayer が持っている Plate(料理) の情報を渡して正誤判定をしてもらう。それによって後述する Waiter クラスと言う演出用のクラスを呼び出してほしいと View に知らせる。持ってる食材、その状態、目の前のマスの状態に応じた条件分岐がたくさんあるので、バグが頻出したメソッドでもある。

文責:米谷

• Waiter

このクラスは、適切な料理が提供された際に、ウェイターが取りに来る演出に用いられるクラスである。インスタンス変数として、そのウェイターの座標と取りに来る、変える時間 (フレーム数)を書いてある。それに加えて、自身を描画処理をする drawMe() というメソッドをもっていて、これは view より Graphics g を受け取って、このメソッド内で描画をする。

文責:米谷

Food

この Food クラスは、料理の食材を表現するための抽象クラスである。インスタンス変数として、食材の状態を整数値で表現するための foodStatu、それぞれの調理法が可能かどうかを示すフラグである canCut、canHeat、食材が皿の上にあるかどうかを示すフラグ isPlate、食材の名前を保持するための文字列 foodName を持つ。コンストラクタでは継承した子クラスの食材にあわせて初期化が行えるように実装している。

文責:吉田

• Plate

この Plate クラスでは、料理を置く土台となる皿を表現している。Food 変数の配列を持たせて皿にのっている食材を管理すると同時に、後述する Order の必要な食材との対応関係をとりやすくしている。

hasAnyFood は皿に食材が 1 つでも乗っているかを確認するメソッドである。全ての位置が null なら false を返し、そうでない場合は true を返す。

Food クラスの引数を皿に追加する add メソッドでは、もし同じ名前の食材が既に乗っていた場合は追加をスキップし、さらに空いてる場所があればその場所に食材を追加、満杯であれば追加しないように実装している。

get メソッドではインデックスを指定してその食材をとってくることができる。

matchesOrder メソッドでは引数で指定した Order クラスの注文と皿に乗っている食材および その調理状態が一致しているかを確認する。

文責:吉田

• Order

この Order は、料理の注文を管理するクラスである。注文の基本情報を保持するインスタンス変数として、注文の名前を文字列で管理する orderName、何個目のオーダーであるかを表す orderIndex、アニメーション用の座標を表す posAnim、subOrderPosY、subOrderPosYAnim を持つ。また、食材に関するインスタンス変数として、皿を持っているかのフラグである hasPlate、必要な食材を表す ingeredient1 3 がある。さらに、注文の制限時間である timeLimit、注文が生成された時間を示す createTime、自動削除用のタイマーである expirationTimer をインスタンス変

数として持つ。制限時間が経過した場合は、効果音を鳴らし、スコアを下げ、注文が削除される。 コンストラクタでは注文の名前や必要な食材、制限時間を注文ごとに設定できるようになって いる。

注文の完成判定を行う isCompleted メソッドは Plate クラスのオブジェクトを引数に持つ。プレイヤーが作った料理である plate.food と注文の材料である orderIngredients を 1 つずつ比較して、一致していれば判定用の配列を true とする。全ての食材が揃っていれば true を返す。

残り時間を計算するメソッドとして getRemainingTime がある。これは現在時刻から注文作成 時刻を引くことで経過時間を計算し、timeLimit から経過時間を引くことで残り時間を取得する。

getRemainingTime が 0 以下であるかで注文の期限切れを判定する isExpired メソッドと、手動で注文を削除する際にタイマーを停止するための cancelTimer メソッドも用意している。

文責:吉田

• View

この DrawView クラスは、JPanel を継承した、描画処理用のクラスである。ゲームの基本画面やプレイヤー、食材、ツール、オーダー、ウェイターなどを描画する。DrawModel を参照している。インスタンス変数として model,cont,size などを持つ。

背景やプレイヤー、オーダー、UI などの基本的なゲーム画面の描画については paint Component で行っている。 ウェイター描画は addWaiter で行っている。

食材の描画で setFoodImage、皿の描画で setPlateImage, オーダーの描画で setOederImage が用いられる。これら関数では、引数として情報を受け取ってそれに対して適切な画像を返す。その判断は if 文や switch 文を用いているが、特に皿の上で食材を組み合わせた場合に、載っているべき食材を指定するだけでは、載っていないべき食材の有無に関わらず完成してしまう。そのため全ての食材の種類と加工の種類を指定しなければならないが毎行書くことは冗長で現実的ではない、ということに苦労した。一気に食材を指定するのではなく、まず先に共通して使っていない食材をジャンルごとに指定し、そのジャンルの if 文内で、持っている物持っていない物を指定することで文章量や比較を減らした。

文責:鈴木

• Controller

主要なクラスメンバとしてはゲームのデータモデルである model、画面描画用の view、プレイヤーオブジェクト player、ゲームアプリケーションの mainApp、新しいオーダーを定期的に追加するためのタイマー orderTimer、ゲームの時間管理用タイマー gameTimer、スペースキーが押されているかの状態を表す spacePushing がある。

キー入力の処理を行う keyPressed メソッドをオーバーライドし、WASD でプレイヤーの移動、Jでアイテムを拾う、Kでアイテムを置く、SPACE でアクションを行うなどのゲームの主要な操作を実装した。

startGame メソッドでは、model.generateOrder で最初のオーダーを生成し、orderTimer によって一定時間ごとに新しいオーダーを追加する。gameTimer で 1 秒ごとにゲーム時間を管理し、残り時間が 10 秒および 0 秒時に効果音を再生する。残り時間が 0 になったら gameTimer を停止し、リザルト画面へ移行する。

注文管理を行う stopOrderTimer メソッドでは model.orders に登録された全オーダーのタイマーを停止する。さらに orderTimer.stop によって新しい注文が来ないようにしている。

文責:吉田

• Start

この Start クラスは、MiniCook ゲームのスタート画面を作成するための JPanel である。JPanel を拡張し、タイトルとスタートボタンを持つスタート画面を作成した。フォントを読み込んで適用することでゲームの世界観を統一し、GridBagLayout を使用して要素をバランスよく配置している。ゲーム開始時の演出として、スタートボタンを押すと効果音が再生されるようになっている。文責:吉田

• Result

この Result クラスはゲーム終了後のリザルト画面を表示するための JPanel である。スコアの表示や、リトライ・終了ボタンを設置している。スコアの数字だけではなく、星評価も追加することで、ゲームらしいフィードバックの実現およびスコアの達成感を高める工夫をした。また、MiniCook のインスタンス変数を受け取り、リスタート処理などを呼び出せるようになっている。文責:吉田

• AudioManager

この AudioManager クラスでは、ゲームの BGM および SE を制御している。 javax.sound.sampled パッケージを使用し、WAV 形式のオーディオファイルを再生・停止できるようにしている。 静的なインスタンス変数として Clip クラスのオブジェクトを持たせることで、アプリ全体で 1 つの BGM を管理できるようにしている。 BGM においては、まず WAV ファイルを AudioInputStream に変換し、Clip にロードし、1oop(Clip.LOOP_CONTINUOUSLY) により無限ループ再生できるように実装した。 SE ではスレッドの並列処理によって同時に複数の SE を再生できるようにした。 具体的には new Thread(() -> ...).start(); とすることで新しいスレッドを作成している。 文責:吉田

4 実行例

スタート画面

実行すると始めにこの画面 (a) が現れる。スタートボタンを押すとゲーム画面: スタート時 (c) になる。

リザルト画面

ゲーム終了後はこのリザルト画面(b)になる。スコアによってランクが星の数で表される。

ゲーム画面:スタート時

スタート時の画面 (c) では、食材などは何もなく、オーダーが1つ入るところから開始される。上部にはオーダー、中央にはゲーム部分、下部にはスコアと制限時間を表示している。

ゲーム画面:オーダー

画面上部のオーダー (d) では、完成品、必要な食材、加工方法、残り時間が示されている。

ゲーム画面:加工前

加工前の食材 (e) をボックスから取り出す。

ゲーム画面:加工後

調理器具でアクションを行うと加工後の画像 (f) に切り替わる。

ゲーム画面:組み合わせ

皿の上に各食材を載せると画像がそれに伴い完成品 (g) となる。

ゲーム画面:提供

完成した料理を提供口に置くと、ウェイターが取りに来る (h)。



Result
Score: 190

Restart Close

(a) スタート画面

(b) リザルト画面



(c) ゲーム画面:スタート時



(d) ゲーム画面:オーダー



(e) ゲーム画面:加工前



(f) ゲーム画面:加工後





(g) ゲーム画面:組み合わせ後

(h) ゲーム画面:提供

文責:鈴木

5 考察

かなり煩雑で冗長な部分を多く含むコードになっており、これは計画的な開発が行えていないことが主な理由であると考える。これは全体として大きな反省点である。

Plate クラスを Food クラスの土台として、Order クラスと比較するという構造およびその処理はかなり直感的でありながら効果的に実装できた。

Player クラスのアクションや、View のアニメーション・画像の描画処理、並びに Food クラスと Order クラスの設計は再利用性が高く、容易に拡張できるようになっている。そのため、新たな調理方法 や食材、注文を追加する際にも、既存のコードやその構造を大きく変更することなく実装が可能である。このように拡張性を持たせることは、ゲームやアプリケーションの開発において重要な要素であり、本プロジェクトではその柔軟な拡張性を実現できた。

特に、Food クラスや Order クラスでは、新しい食材や注文の種類を追加する際に、既存のコードを変更せずに新たなインスタンスを定義するだけで対応できるため、開発の負担を軽減できる。また、Viewの描画処理においても、新しいアニメーションや画像を追加する際に大規模な修正を加える必要がないため、デザイン面での自由度も高い。

今後、新しい調理方法や特殊な注文の導入、さらにはマルチプレイ対応など、さらなる機能拡張を行う際にも、この柔軟な設計が活かされると考えられる。特に、追加要素が増えてもコードの可読性や保守性を損なうことなく、スムーズに機能を拡張できる点は、本プロジェクトの大きな強みである。 文責:吉田

6 感想

(米谷 祐希)

Java を始めてさわる・オブジェクト指向言語も初めてさわる・グループ開発も初めてという、何もわからない状態で始まったのでとても大変だったというのが正直な感想です。最初にどんなゲームを作ろうというのを全員で共有はしたものの、実際に全員が同じビジョンを見据えてコーディングをしていくというのはとても大変なのだなとつくづく実感しました。とくに、今回全体の管理を行った関係で、チームメンバーにいろいろ指示を出すことが多かったのですが、同じ部分をそれぞれ編集するや、仕様の勘違い等で、思った通りにいかないことがあったりなど、とにかくいろんな壁がありました。さらにクラスに関しても、これはあったほうが良いね、これもほしい、等といった付け足しの形での実装が多かったせいで、それぞれの参照などを追加したりなどという作業で一通り更新するのがとても大変でした。

せっかくのグループ開発なのだからということで、GitHub を使ってみようとしましたが、最初は全員のコードを手作業でまとめていたりなど、手間取ったことが多かったです。しかしプロジェクトが進むにあたっては git merge コマンドの挙動、使用など、この授業の範疇ではない技術・知識についても習得することができたのは、とても身になったと嬉しい気持ちです。C言語が主に触ってきた自分としては、オブジェクト指向の考え方には最初は困惑しましたが、講義とグループ開発での実践経験を経てその便利さについては十分に理解することができました。しかしながら、このプログラムも改善ができる場所が山積みだなと思っています。自分は View の描画の流れについても担当しているのですが、一括で情報を取得して描画するというシステムは、クラスの参照の数が減ったりといった利点はあるものの、百行を超えるコードになってしまい、とても見にくいものとなってしまっています。途中でそこに気づいたために自分が実装した Waiter クラスは Waiter クラス自身で自分を描画するというシステムにしてみて、view 側で

メソッドを一つ書くだけなのがとてもきれいで、これにすればよかったなと今になっては思っています。 ここに 2 つのコードを書いています。

Listing 1 このプログラムで基本的に採用されている描画処理方法

for (int i = 0; i < model.orders.length; i++){ //の枚数によってループ処理 Order

```
if(model.orders[i] != null){
   Order order = model.orders[i];
   orderImage = setOrderImage(order);
   int targetPos = 20 + i * (orderW +5);
   double dx = targetPos - order.posAnim;
   order.posAnim += dx * easingFactor;
   g.drawImage(orderPaper, (int)order.posAnim, 15, orderW, orderH, this);
   drawGauge(g, "down", (int)(order.posAnim)+8, 22, orderW-16, 17, order.getRemai g.drawImage(orderImage, 42 + (int)order.posAnim, 30, 75, 75, this);
}
```

1つ目のプログラムは従来の手法で、それぞれの処理を view の中にかいてあるせいで、コードが長くなってします。

それに対して、2つ目のプログラムは Waiter の描画である。

Listing 2 Waiter クラスで用いた描画方法

```
for(int i = 0; i < 5; i++){
   if(waiters[i] != null && waiters[i].active == true){
      waiters[i].drawMe(g, this);
   }
}</pre>
```

描画の処理はクラスに書いてあるので、個々では1行実行するだけで良くなっている。このような処理にすればよりオブジェクト指向らしく書けただろうにとおもっている。

プログラムのシステム面がおおよそ出来上がったときに、「ゲームのデザインとグラフィックは大事だから!」と言って、デザインにも力を込めたいといったときに、みんながそれに賛同してより良いものにできたというのがこのプロジェクトの一番大きなターニングポイントではないかと思っている。そして出来上がったゲームが、実際に最優秀賞を取れたというのが、自分は本当に嬉しく、とても良い経験をさせてもらったなという気持ちである。オブジェクト指向のコーディングには慣れたつもりでいるので、これからも頑張っていきたいと思う。

(鈴木 早紀)

}

授業前半の個人の課題を最低限しか取り組まなかったために、2人より Java を理解していなくて2人 に大変な部分を多く任せてしまいました。2人が進んでやってくれたので感謝しています。画像・音楽の 準備やメニューの追加、スライドやレポートは積極的に行えたと思います。View としての課題は、変数

や画像読み込みが多すぎることで、今後食材やメニューの追加を行うときにもひたすらこれを書いていくのは厳しいと感じました。せめて別ファイルにするなどして、View.java 内はシンプルにする方が分かりやすいのかなと思いました。また、メニューによって食材や調理方法を指定するときは、分量が少なくなるようにif文の順序に工夫はしましたが、他の班の発表を聞き、csvファイルの読み込みにすることで管理もしやすくなるのかなと考えました。今回初めて本格的にグループプログラミングを行ったので、共同作業をする大変さや、作業を分割する便利さを知ることができました。先輩や2人のプログラムを特に参考にして理解を進めることができました。Java はこの授業で初めて触ったけれど、半年間という期間を考慮すると大きな成果が得られたなと感じます。

(吉田 陽音)

授業前半では Java の基礎知識やオブジェクト指向について学ぶことができたが、与えられた課題をこなすだけで受け身の学びであった。一方後半の、このゲーム製作では積極的に Java についての理解を深めていくことができた。Java はこの授業で初めて触ったので、ゲーム製作の課題を聞いた当初はそれなりの形にできれば良いかなと思っていたが、実際に製作を進めていくうちに夢中になり、楽しみながらゲームを作ることができた。

反省点としては、行き当たりばったりな開発となってしまい、クラスが煩雑になってしまったり、メソッドが冗長になってしまったりしたことである。もっと計画的な開発が行えていたら、他の要素を実装する時間が生まれ、より良いゲームを作れたと反省している。

世の中に存在しているゲームに比べると簡易的なゲームであるが、素人なりにかなりの労力や知識を詰め込んだ気でいたため、友人や家族にこのゲームを見せた時にあまり良いリアクションを得られなかったことがかなりショックであった。この授業では、Java についてだけでなく、こうした体験を通して学ぶことも多く、さらにはグループ開発を経験できたこともあり、自分にとってかなり有意義であったと実感している。

投票で1位を獲得できたことは、自分にとって大きな達成感をもたらし、心から嬉しく思えた。

付録1:操作マニュアル

(ストーリー)

キミはおばけの国のレストランのキッチンで働いているぞ!制限時間内にオーダー通りの料理をたくさ ん作ろう!目指せ高得点!!

(実行方法)

「Java MiniCook」でゲームが開始する。

(操作方法)

このゲームはキーボードでキャラクターを操作する。図 2 にキー操作を示す。W,A,S,D で上下左右を操作し、J で取る、K で置く、スペースキーでアクションを行う。



図2 キーボード操作方法

(遊び方)

1. スタート

スタートボタンを押すとゲームが開始する。

2. オーダーの確認

まず、画面上部にランダムにオーダーが提示される。オーダーには、使う食材と調理方法が記載されている。各オーダーにはそれぞれ制限時間が設定されており、残り時間はオーダー上のゲージにリアルタイムに表示される。

3. 食材の調理

次に、オーダーに記載されている食材を、各食材ボックスから取り出す。各食材を持ったまま、 各調理器具の前でアクションボタンを押すことで、食材が加工される。

4. 料理の完成と提供

料理は、加工された食材とお皿を組み合わせることで完成する。それらを組み合わせて料理ができあがれば、提供口に置くことで提供となり、オーダーと一致しているか判定される。一致していれば加点、間違っていれば減点となる。

5. リザルト

制限時間がなくなるとリザルト画面に遷移する。スコアとランクが表示される。リザルトを押せ

ばもう一度ゲームが開始する。

(ゲーム画面)

ゲーム画面は図3のように、オーダー、キャラクター、食材・皿ボックス、スコア、調理器具、提供口、制限時間で構成されている。



図3 ゲーム画面の説明

(データ)

- メニュー一覧
 - マグロ握り
 - イカ握り
 - 海鮮丼
 - カッパ巻
 - 鉄火巻き
 - サラダ
- 調理器具一覧
 - 包丁
 - 鍋
- 食材一覧
 - マグロ
 - イカ
 - 米
 - 海苔
 - キャベツ
 - トマト
 - キュウリ

文責:鈴木

付録 2:プログラムリスト

以下にプログラムリスト全体を記述する。

• MiniCook

```
import javax.swing.*;
import java.awt.*;
              class MiniCook extends JFrame {
                        Ss mintook extends frame (
DrawModel model;
DrawView view;
DrawController cont;
AudioManager audio;
Result resultScreen;
private CardLayout cardLayout;
private JPanel cardPanel;
 10
11
12
                         public MiniCook() {
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
                                    lic MiniCook() {
System.out.printf("\n---Start---\n\n"); //見やすいように
model = new DrawModel();
view = new DrawView(model);
cont = new DrawController(model, view, this);
audio = new AudioManager();
                                    model.getPlayer().setController(cont);
model.getPlayer().setView(view);
view.setController(cont);
view.addKeyListener(cont);
                                    this.setBackground(Color.WHITE);
this.setTitle("MiniCook");
this.setSize(1016, 950);
this.setDefaultCloseOperation(JFrame.EXIT_ON_CLOSE);
setLocationRelativeTo(null);
\begin{array}{c} 30 \\ 311 \\ 333 \\ 345 \\ 336 \\ 378 \\ 389 \\ 401 \\ 442 \\ 443 \\ 445 \\ 546 \\ 551 \\ 552 \\ 556 \\ 566 \\ 666 \\ 667 \\ 712 \\ 737 \\ 747 \\ 757 \\ 767 \\ 78 \\ \end{array}
                                    // カードレイアウトの設定
cardLayout = new CardLayout();
cardPanel = new JPanel(cardLayout);
                                     // 各画面の追加
                                    Start startScreen = new Start(this);
resultScreen = new Result(this);
                                    cardPanel.add(startScreen, "start");
cardPanel.add(resultScreen, "result");
                                    // ゲーム画面
JPanel gamePanel = new JPanel(new BorderLayout());
gamePanel.add(view, BorderLayout.CENTER);
                                    cardPanel.add(gamePanel, "game");
                                    add(cardPanel);
cardLayout.show(cardPanel, "start");
                          // スタート画面からゲーム画面に切り替える
                         // 人メート側面からアーム側面に切り替える
public void startGame() {
  cardLayout.show(cardPanel, "game");
  cont.startGame();
  / キーボード入力を受け取るためにフォーカスを設定
  view.requestFocusInWindow();
                          // ゲーム終了時にリザルト画面を表示する
                         // ブーム終く時にリガルト画面を表示する
public void showResult() {
    audio.stopBGM();
    System.out.println("リザルト画面を表示します。");
    resultScreen.updateScore(model.score);
    cardLayout.show(cardPanel, "result");
                          // リザルト画面からもう一度プレイ
                         // ファルーHeman Job / Re ノレー
public void restartGame() {
audio.playBGM("./sound/music_background2.wav");
model.reset(); // ゲームデータをリセット(必要なら実装)
startGame(); // ゲームを開始
                          public static void main(String[] args) {
   new MiniCook().setVisible(true);
```

• Model

```
import javax.swing.*;
import java.aut.*;
import java.aut.event.*;
import java.aut.event.*;
import java.util.Random;

class DrawModel extends JPanel {
  private final int xsize = 16; // グリッドの幅
  private final int xsize = 9; // グリッドの高さ
  private final int cellSize = 60; // マスの大きさ1
  protected Grid[][] grid;
  private Player player;
  private Food food;
  public int score;
  public offer[] orders; //を入れる配列order
  private int gameTime;
```

```
16
17
18
19
                                public DrawModel() {
    gameTime = 120; //ゲーム時間秒()
    score = 0;
    orders = new Order[5];
    for(int i=0; i<5; i++){
        orders[i] = null;
    }
   20
21
22
23
24
25
26
                                             }
grid = new Grid[xsize][ysize];
//*mageGrid = new int[zsize][ysize];
for (int i = 0; i < xsize; i++) {
    for (int j = 0; j < ysize; j++) {
        grid[i][j] = new Grid(i, j);
        //*mageGrid[i][j] = '\0';
        if (i == 0 || j == 0 || i == xsize - 1 || j == ysize - 1) {
            grid[i][j].wall = true; // 外周を壁に設定
        }
}
}
                                              player = new Player(2, 2, this, grid);
                                             //以下で所定の場所に所定のオブジェクトを配置
grid[3][3].obstacle = true;
grid[4][3].obstacle = true;
grid[5][3].obstacle = true;
grid[6][5].obstacle = true;
grid[9][5].obstacle = true;
grid[10][5].obstacle = true;
grid[11][5].obstacle = true;
grid[11][5].obstacle = true;
                                              grid[4][5].foodBox = 1;
grid[4][5].obstacle = true;
grid[4][5].tool = 2;
                                              grid[5][5].foodBox = 2;
grid[5][5].obstacle = true;
grid[5][5].tool = 4;
                                              grid[6][5].foodBox = 3;
grid[6][5].obstacle = true;
grid[6][5].tool = 5;
                                              grid[9][3].foodBox = 4;
grid[9][3].obstacle = t
grid[9][3].tool = 6;
                                              grid[10][3].foodBox = 5;
grid[10][3].obstacle = true;
grid[10][3].tool = 7;
                                              grid[11][3].foodBox = 6;
grid[11][3].obstacle = true;
grid[11][3].tool = 8;
                                              grid[12][3].foodBox = 7;
grid[12][3].obstacle = true;
grid[12][3].tool = 9;
                                              //カウンターを設置 Yoshida
grid [7] [8].wall = true;
grid [7] [8].isCounter = true;
grid [8] [8].wall = true;
grid [8] [8].isCounter = true;
                                              grid[0][3].tool = 1;//+77
grid[0][4].tool = 1;//+77
grid[0][6].tool = 1;//+77
grid[15][3].tool = 1;//+77
grid[15][4].tool = 1;//+77
grid[15][5].tool = 1;//+77
                                              grid[10][0].tool = 10;//なべ
grid[11][0].tool = 10;//なべ
grid[12][0].tool = 10;//なべ
                                              grid[3][0].tool = 12;//フライパン
grid[4][0].tool = 12;//フライパン
grid[5][0].tool = 12;//フライパン
                                             grid[3][5].plateBox = true;
grid[3][5].obstacle = true;
grid[3][5].tool = 3;
                                              grid[7][0].plateBox = true;
grid[7][0].tool = 3; //皿ボックス
grid[8][0].plateBox = true;
grid[8][0].tool = 3; //皿ボックス
 103
104
105
106
107
108
109
110
111
                                              grid[0][1].tool=13;
grid[0][7].tool=13;
grid[15][1].tool=13;
grid[15][7].tool=13;
                                             grid[6][8].tool = 14;
grid[9][8].tool = 14;
112
113
114
115
116
117
118
                                public Grid[][] getGrid() {
   return grid;
}
                                public int[] getFieldSize() {
    return new int[]{xsize, ysize};
 119
 120
121
122
123
124
                                public int getCellSize() {
    return cellSize;
 125
                                 public Player getPlayer() {
    return player;
126
127
```

```
129
                          public Food getFood() {
    return food;
130
131
132
133
134
135
                         public void movePlayer(int dx, int dy) {
    player.move(dx, dy, grid);
 136
                          public void printInfo(){
 137
                                    --- ・・・・ロロ printinro(){
System.out.println("デバッグ用情報<>");
// デバッグ用
 138
 139
140
141
142
143
144
                                     // デバック用
System.out.println("配列の状態orders:");
for (int i = 0; i < 3; i++) {
    if (orders[i] != null) {
        System.out.println("orders[" + i + "]:」" + orders[i].orderName);
                                                         System.out.println("orders[" + i + "]:_null");
 \frac{145}{146}
                                              }
147
                                   }
 148
148
149
150
151
152
                          public void generateOrder() {
   String[] menu={"salad","tekkamaki","kappamaki","tunanigiri","ikanigiri","kaisendon"};
                                     int num_menu=6;
Random random=new Random();
 153
                                    Random random=new Random();
for (int i = 0; i < orders.length; i++) {
   if (orders[i] == null) {
     System.out.println("orders[" + i + "]_|はですnull_i新しいオーダーを生成します");
     String randommenu=menu[random.nextInt(num_menu)];
     orders[i] = new Order(randommenu , i , this);
     System.out.println("生成されたオーダー:_" + orders[i].orderName);
     break
 154
 155
156
157
158
159
 160
                                                          break;
 161
                                                - .
System.out.println("orders[" + i + "]<sub>□</sub>は存在しています:<sub>□</sub>" + orders[i].orderName);
 162
163
164
165
166
167
                         }
public Order matchOrder(Plate plate) {
  for (Order order : orders) {
    if (order != null && plate.matchesOrder(order)==true) {
        System.out.println(order.orderName + "が完成!");
        return order;
 169
 170
171
172
173
174
175
                          public Order getOrder(int index) {
   if(index < orders.length || index >= 0)return orders[index];
   else return null;
176
177
178
179
180
181
182
                         public void scoreUp(Order order){
    switch(order.orderName){
        case "salad" : score += 50;
        case "tekkamaki" : score += 50;
        case "kappamaki" : score += 50;
        case "tunanigiri" : score += 30;
        case "ikanigiri" : score += 30;
        case "kaisendon" : score += 60;
}
 \frac{183}{184}
 185
 186
187
188
189
190
                                     }
System.out.println("scoreUp()が呼ばれました");
for(int i=0; i<orders.length; i++){
    if(orders[i] == order){ //こっちのほうが重複した料理があったときに対応できる
    removeOrder(i);
    return;
 191
 192
 193
194
195
196
197
                                    }
                          public void scoreDown(Order order) {
   System.out.println("socreDown() called");
   if(score == 0) return;
   if(order == null) {
 198
199
                                              score -= 50;
if(score < 0) score = 0;
200
201
201
202
203
204
205
                                    }
switch(order.orderName) {
   case "salad" : score -= 30;
   case "tekkamaki" : score -= 30;
   case "kappamaki" : score -= 30;
   case "tunanigiri" : score -= 20;
   case "ikanigiri" : score -= 20;
   case "kaisendon" : score -= 30;
}
206
207
208
208
209
210
211
212
213
                                     if(score < 0) score = 0;
                                    for(int i=0; i<orders.length; i++){
   if(orders[i].orderName == order.orderName){
      removeOrder(i);</pre>
214
215
216
217
218
219
220
                          }
public void removeOrder(int i){
    System.out.println("get_u=" + i);
    if (i >= 0 &k i < orders.length &k orders[i] != null) {
        orders[i].cancelTimer(); // タイマーの停止
        System.out.println("注文" + orders[i].orderName + "uを削除します。");
        orders[i] = null;
        formatOrder();
    }
221
222
223
224
225
226
227
228
229
                           private void formatOrder(){ //を前に詰めていくメソッドorder
230
                                    vate void formaturder() //@BH_BBOUN(X/Y)Forder
for(int s = 0; s < orders.length - 1; s++){
   for(int t = s; t < orders.length - 1; t++){
      if(orders[t] == null) {
            orders[] = orders[t+1];
            if(orders[t] != null) { orders[t].orderIndex = t; }
            orders[t+1] = null;
      }
}</pre>
231
232
232
233
234
235
236
237
238
239
```

```
\frac{240}{241}
                                        以下時間に関わるメソッド Yoshida
\frac{242}{243}
                              public int getGameTime(){
    return gameTime;
244
245
246
247
248
                              public void decreaseTime(){
   if(gameTime > 0){
      gameTime --;
}
249
250
251
251
252
253
254
255
256
                              public void reset() {
   gameTime = 120/*3*60 + 30*/;
   score = 0;
   for(int i=0; i<5; i++){
        orders[i] = null;
    }
}</pre>
\frac{257}{258}
                                           }
for (int i = 0; i < xsize; i++) {
  for (int j = 0; j < ysize; j++) {
    grid[i][j].food = null;
    grid[i][j].plate = null;
    grid[i][j].isPlatePlaced = false;
    if (i == 0 || j == 0 || i == xsize - 1 || j == ysize - 1) {
        grid[i][j].wall = true;
    }
}</pre>
259
260
261
262
263
264
265
                                                                 }
266
267
                                                     }
268
269
270
271
272
                                          ]
grid[3][3].obstacle = true;
grid[4][3].obstacle = true;
grid[5][3].obstacle = true;
grid[6][3].obstacle = true;
grid[6][5].obstacle = true;
grid[10][5].obstacle = true;
grid[11][5].obstacle = true;
grid[12][5].obstacle = true;
273
274
274
275
276
277
278
279
                                           grid[4][5].foodBox = 1;
grid[4][5].obstacle = true;
grid[4][5].tool = 2;
280
281
                                           grid[5][5].foodBox = 2;
grid[5][5].obstacle = true;
grid[5][5].tool = 4;
282
282
283
284
285
286
287
                                           grid[6][5].foodBox = 3;
grid[6][5].obstacle = true;
grid[6][5].tool = 5;
288
289
299
291
292
293
294
                                           grid[9][3].foodBox = 4;
grid[9][3].obstacle = true;
grid[9][3].tool = 6;
                                           grid[10][3].foodBox = 5;
grid[10][3].obstacle = true;
grid[10][3].tool = 7;
\frac{295}{296}
297
                                           grid[11][3].foodBox = 6;
grid[11][3].obstacle = true;
grid[11][3].tool = 8;
298
299
300
301
302
                                           grid[12][3].foodBox = 7;
grid[12][3].obstacle = true;
grid[12][3].tool = 9;
303
304
305
306
307
308
309
                                           grid[7][8].wall = true;
grid[7][8].isCounter = true;
grid[8][8].wall = true;
grid[8][8].isCounter = true;
310
                                           grid[0][3].tool = 1;//ナイフ
grid[0][4].tool = 1;//ナイフ
grid[0][5].tool = 1;//ナイフ
grid[15][3].tool = 1;//ナイフ
grid[15][4].tool = 1;//ナイフ
grid[15][5].tool = 1;//ナイフ
311
312
313
313
314
315
316
317
318
319
                                           grid[10][0].tool = 10;//なべ
grid[11][0].tool = 10;//なべ
grid[12][0].tool = 10;//なべ
320
320
321
322
323
324
325
                                           grid[3][0].tool = 12;//フライパン
grid[4][0].tool = 12;//フライパン
grid[5][0].tool = 12;//フライパン
                                           grid[3][5].plateBox = true;
grid[3][5].obstacle = true;
grid[3][5].tool = 3;
326
327
328
329
330
331
332
                                           grid[7][0].plateBox = true;
grid[7][0].tool = 3; //皿ボックス
grid[8][0].plateBox = true;
grid[8][0].tool = 3; //皿ボックス
\frac{333}{334}
                                           grid[0][1].tool=13;
grid[0][7].tool=13;
grid[15][1].tool=13;
grid[15][7].tool=13;
335
336
337
338
339
340
                                           grid[6][8].tool = 14;
grid[9][8].tool = 14;
341
342
343
```

• View

```
import javax.swing.*;
import java.aut.*;
import java.aut.event.*;
```

```
import java.awt.image.BufferedImage;
import java.awt.image.ImageObserver;
import java.io.File;
                                           import java.io.IOException;
                                           import java.util.concurrent.*;
                                         class DrawView extends JPanel {
         13
                                                                     //int orderXAnim = 2000;
         14
                                                                //int orderXAnim = 2000;
int speed = 20;
static final double easingFactor = 0.2;
static final double easingFactorText = 0.2;
double scoreAnim = 0;
private BufferedImage cacheFloorAll = null;
private Timer drawTimer6Ofps; //60でHzpaintcomponent()を呼び出すために使う Kome
         15
      16
17
18
19
20
                                                               private Timer drawTimer60Tps;
protected DrawModel model;
private DrawController cont;
Grid[][] grid;
int[] size;
final int cellSize;
       \frac{21}{22}
       \frac{23}{24}
      25
26
27
28
29
                                                               private Image ImagePlayer;//画像のための変数
private Image imgPlayerUp;
private Image imgPlayerLeft;
private Image imgPlayerDown;
private Image imgPlayerRight;
private Image imgFrorFlock;
private Image imgBoil;
private Image imgBoil;
private Image imgBoil;
private Image imgPoil*Rice;
private Image imgPlateRice;
private Image imgPlateRice;
       30
      31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
                                                               private Image imgPlateBox;
private Image imgPlateBox;
private Image imgPlate;
private Image imgCabbageSox;
private Image imgCabbageCout;
private Image imgCabbageCout;
private Image imgTomatoBox;
private Image imgTomatoCout;
private Image imgTomatoCout;
private Image imgCucumberBox;
private Image imgCucumberCout;
private Image imgCucumberCut;
private Image imgCabTom;
private Image imgCabTom;
private Image imgCabTom;
private Image imgCabTomCuc;
         45
      \begin{array}{c} 46 \\ 47 \\ 48 \\ 49 \\ 50 \\ 51 \\ 52 \\ 53 \\ 54 \\ 55 \\ 56 \\ 57 \\ 58 \\ 60 \\ \end{array}
                                                            private Image imgTomCuc;
private Image imgTomCuc;
private Image imgGabTomCuc;
private Image imgRiceBox;
private Image imgRiceBox;
private Image imgRiceBoil;
private Image imgTumaBox;
private Image imgTumaCut;
private Image imgTumaCut;
private Image imgGaquidBox;
private Image imgGquidCut;
private Image imgSquidCut;
private Image imgSquidCut;
private Image imgSeaveedBox;
private Image imgSeaveedBox;
private Image imgGicGuc;
private Image imgGicGuc;
private Image imgRicSqu;
private Image imgRicSqu;
private Image imgRicSqu;
private Image imgRicSqu;
private Image imgRicSuc;
private Image imgRicSuc;
private Image imgRicSuc;
private Image imgRicCucSea;
private Image imgRicTumSea;
private Image imgRicBlack;
private Image imgRicFloor2;
private Image imgRicFloor3;
private Image imgRicPloor3;
private Image imgRable;
private Image imgRable;
private Image imgSampleSalad;
      61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
      76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
99
                                                               private Image imgSampleSalad;
private Image imgA;
private Image imgB;
private Image imgC;
private Image imgC;
private Image imgF1;
private Image imgF2;
private Image imgF3;
private Image sideWall;
private Image sideWall;
private Image imgWaiterUp;
private Image imgWaiterDown;
private Image imgWaiterDown;
private Image imgWire;
private Image imgVire;
private Image imgUIBG;
private Image imgCoin;
private Image imgCoin;
private Image imgCoin;
       91
92
93
94
95
96
97
       99
                                                                Player player;
static final int headerBlank = 220;
static final int fotterBlank = 300;
static final int rightBlank = 20;
static final int leftBlank = 60;
   100
   101
102
103
104
105
                                                                   double playerSpeed;
   106
   107
                                                                   Waiter[] waiters = new Waiter[5]:
   108
                                                                  private ScheduledExecutorService executor;
private int frameCount = 0; // フレー 数をカウント
private double fps = 0.0; // 計算したを格納FPS
private long lastTime = System.nanoTime(); // 前回の時間
private static final long FPS_UPDATE_INTERVAL = 100_000_000; // 100 (ナノ秒) ms
int plassedFlame = 0; //全体の経過フレーム、様々なアニメーションにつかう
int flameScoreGet = 0;
108
109
110
111
112
113
 114
115
```

```
116
                              int getScore = 0;
 117
118
                             119
 120
 120
121
122
123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
130
                                         //mEv-//
ingKnife=new ImageIcon("img/knife.png").getImage();
ingBoil=new ImageIcon("img/boil.png").getImage();
ingBoilRice=new ImageIcon("img/rice_boil.png").getImage();
ingPlateBox = new ImageIcon("img/plate_box.png").getImage();
ingPlate = new ImageIcon("img/plate.png").getImage();
imgPan = new ImageIcon("img/plate.png").getImage();
 131
 132
 133
134
 135
 136
 136
137
138
139
140
                                         imgCabbageBox=new ImageIcon("img/cabbage_box.png").getImage();
imgCabbage=new ImageIcon("img/cabbage.png").getImage();
imgCabbageCut = new ImageIcon("img/cabbage_cut.png").getImage();
                                          imgTomatoBox = new ImageIcon("img/tomato_box.png").getImage();
 141
                                         imgTomato = new ImageIcon("img/tomato.png").getImage();
imgTomatoCut = new ImageIcon("img/tomato_cut.png").getImage();
 142
 143
 144
145
146
147
                                         imgCucumberBox = new ImageIcon("img/cucumber_box.png").getImage();
imgCucumber = new ImageIcon("img/cucumber.png").getImage();
imgCucumberCut = new ImageIcon("img/cucumber_cut.png").getImage();
 148
                                         imgCabTom = new ImageIcon("img/cab_tom.png").getImage();
imgCabCuc = new ImageIcon("img/cab_cuc.png").getImage();
imgTomCuc = new ImageIcon("img/tom_cuc.png").getImage();
imgCabTomCuc = new ImageIcon("img/cab_tom_cuc.png").getImage();
 149
 150
 151
152
153
154
155
156
                                         imgRiceBox = new ImageIcon("img/rice_box.png").getImage();
imgRice = new ImageIcon("img/rice.png").getImage();
imgRiceBoil = new ImageIcon("img/rice_boil2.png").getImage();
 157
                                         imgTunaBox = new ImageIcon("img/tuna_box.png").getImage();
imgTuna = new ImageIcon("img/tuna.png").getImage();
imgTunaCut = new ImageIcon("img/tuna_cut.png").getImage();
 158
 158
159
160
161
162
                                          imgSquidBox = new ImageIcon("img/squid_box.png").getImage();
imgSquid = new ImageIcon("img/squid.png").getImage();
 163
 164
                                          imgSquidCut = new ImageIcon("img/squid_cut.png").getImage();
 165
                                          imgSeaweedBox = new ImageIcon("img/seaweed_box.png").getImage();
imgSeaweed = new ImageIcon("img/seaweed.png").getImage();
 166
167
168
169
170
                                        imgRicTun = new ImageIcon("img/ric_tun.png").getImage();
imgRicSqu = new ImageIcon("img/ric_squ.png").getImage();
imgRicSea = new ImageIcon("img/ric_sea.png").getImage();
imgRicCuc = new ImageIcon("img/ric_cuc.png").getImage();
imgTunSea = new ImageIcon("img/run.sea.png").getImage();
imgTunSqu = new ImageIcon("img/tun.squ.png").getImage();
imgCucSea = new ImageIcon("img/tun.squ.png").getImage();
imgRicCucSea = new ImageIcon("img/ric_cuc.sea.png").getImage();
imgRicTunSqu = new ImageIcon("img/ric_tun.sea.png").getImage();
imgRicTunSqu = new ImageIcon("img/ric_tun.sea.png").getImage();
imgRicTunSqu = new ImageIcon("img/ric_tun.squ.png").getImage();
 \frac{171}{172}
 173
 174
 175
176
176
177
 179
 180
 181
                                        imgCounter[0] = new ImageIcon("img/test/counter1.png").getImage();
imgCounter[1] = new ImageIcon("img/test/counter2.png").getImage();
imgCounter[2] = new ImageIcon("img/test/counter3.png").getImage();
imgCounter[3] = new ImageIcon("img/test/counter4.png").getImage();
imgCounter[4] = new ImageIcon("img/test/counter5.png").getImage();
orderPaper = new ImageIcon("img/order_paper_short.png").getImage();
imgKnifeBlack = new ImageIcon("img/knife_black.png").getImage();
imgBoilBlack = new ImageIcon("img/boil_black.png").getImage();
 182
183
184
185
 186
 187
 188
 189
 190
191
192
193
194
                                         imgTrash = new ImageIcon("img/trash.png").getImage();
                                        imgFloor1 = new ImageIcon("img/floor1.jpg").getImage();
imgFloor2 = new ImageIcon("img/floor2.jpg").getImage();
imgFloor3 = new ImageIcon("img/floor3.png").getImage();
imgA = new ImageIcon("img/test/B.png").getImage();
imgB = new ImageIcon("img/test/D.long.png").getImage();
imgC = new ImageIcon("img/test/C.jpg").getImage();
imgF1 = new ImageIcon("img/test/floor_a_4.png").getImage();
imgF2 = new ImageIcon("img/test/floor_b_4.png").getImage();
imgF3 = new ImageIcon("img/test/floor_c_3.png").getImage();
 195
 196
 197
 201
202
203
                                         imgTable = new ImageIcon("img/table.png").getImage();
 204
205
                                         imgSampleSalad = new ImageIcon("img/cab_tom_cuc.png").getImage();
                                         imgFire = new ImageIcon("img/fires.png").getImage();
 208
\frac{209}{210}
                                         imgUIBG = new ImageIcon("img/ui_background.png").getImage();
imgCoin = new ImageIcon("img/coin.png").getImage();
imgTimer = new ImageIcon("img/timer.png").getImage();
211
212
213
                                        testWall = new ImageIcon("img/test/wallpaper_11.png").getImage();
sideWall = new ImageIcon("img/test/wall_side.png").getImage();
ingWaiterUp = new ImageIcon("img/test/ghost_up.png").getImage();
ingWaiterDown = new ImageIcon("img/test/ghost_down.png").getImage();
longShadow = new ImageIcon("img/test/ghost_down.png").getImage();
214
217
218
219
220
                                          imgCandle = new ImageIcon("img/test/candle.png").getImage();
221
222
223
 224
                                          this.setDoubleBuffered(true);
                                         player = model.getPlayer();
grid = model.getGrid();
size = model.getFieldSize();
225
226
227
```

```
cellSize = model.getCellSize();
loadCustomFont();
229
230
                              executor = Executors.newScheduledThreadPool(1); //60での描画を開始fps
executor.scheduleAtfixedRate(() -> {
long currentTime = System.nanoTime();
frameCount++;
231
232
233
                                      // 100ms ごとに FFS を計算
if (frameCount >= 30) {
  double timeDiff = (currentTime - lastTime) / 1_000_000.0;
  double fps = 1000.0 * 30 / timeDiff;
  frameCount = 0; // フレーム数をリセット
  lastTime = currentTime; // 時間を更新
236
237
238
239
240
241
242
243
244
                             SwingUtilities.invokeLater(this::repaint); // スレッドで描画Swing }, 0, 16, TimeUnit.MILLISECONDS);
\frac{245}{246}
247
                              playerSpeed = player.getPlayerSpeed();
248
249
                              createCacheFloorAll();
                      .
public void setController(DrawController cont) { this.cont = cont; }
//床の画像をキャッシュする関数、のコンストラクタで一回だけ呼ぶDrawView
252
253
254
                      private void createCacheFloorAll() {
   int cS = cellSize;
255
                              int overCell = 6;
cacheFloorAll = new BufferedImage(cS*size[0], cS * (size[1]+overCell), BufferedImage.TYPE_INT_ARGB);
Graphics2D g2 = cacheFloorAll.createGraphics();
256
256
257
258
259
                              // 必要に応じて他の背景パーツを描画する
260
                              // 必要に応して他の目前/1-7を指摘する

int rB = rightBlank;

for(int i = 1; i < size[0] -1; i++){

    for(int j = 1; j < size[1] -1; j++){

        g2.setColor(Color.DARK_GRAY);

        if((i + j)%2 = n){g2.drawImage(imgF1, i * cS, j * cS, cS, cS, this);}

        else {g2.drawImage(imgF2, i * cS, j * cS, cS, this);}

    }
261
262
263
267
                                     }
268
269
                              for(int j = size[1]; j < size[1] + overCell; j++){
   for(int i = 0; i < size[0]; i++){
      g2.setColor(new Color(200,0,0));
      g2.drawImage(imgF3, i * cS, j * cS, cS, cS, this);</pre>
270
270
271
272
273
274
275
276
                              g2.dispose();
277
278
279
280
281
                     protected void paintComponent(Graphics g) {
   super.paintComponent(g);
   passedFlame++;
   final int dD3d = 20; //疑似3の実装のために床を実際よりが正向きにずれる。Dy
   g.dravImage(testWall,rightBlank,0,cellSize*16, headerBlank,this); //奥の壁
   g.setColor(new Color(101,68,59));
282
\frac{283}{284}
                             g.setvolor(new Color(101,68,59));
g.drawImage(cacheFloorAll, 0+rightBlank, 0+headerBlank + dD3d, this); //床の画像だけキャッシュ一時保存()して処理を軽く
g.fillRect(0, 0, rightBlank, 1200);
g.fillRect(0 + rightBlank + size[0]*cellSize, 0, rightBlank, 1200);
final int rB = rightBlank;
final int rB = headerBlank;
final int cS = cellSize;
285
286
287
288
289
290
291
                              //プレイヤーの座標のアニメーション処理
292
                             //プレイヤーの座標のアニメーション処理
if (Math.abs(player.x - player.xAnim) <= playerSpeed) { //について x
player.xAnim = player.x;
player.moving = false;
}else if (player.x > player.xAnim) {
player.xAnim += playerSpeed;
player.moving = true;
}else if (player.x < player.xAnim) {
player.xAnim -= playerSpeed;
player.moving = true;
}
293
294
298
299
300
301
301
302
303
304
305
                             }

if (Math.abs(player.y - player.yAnim) <= playerSpeed){ //KOWTy
player.yAnim = player.y;
player.moving = (player.moving || false);
}else if (player.y > player.yAnim){
player.yAnim += playerSpeed;
player.moving = true;
}else if (player.y < player.yAnim){
player.yAnim -= playerSpeed;
player.moving = true;
}
306
307
308
309
310
311
312
                              ,
//プレイヤーの下の影の描画
313
314
                              g.setColor(Color.BLACK);
g.setColor(new Color(0,0,0,128));
315
316
                              g.fillOval((int)(player.xAnim*cellSize) + rB + 10, (int)(player.yAnim*cellSize) + hB +dD3d + 10, 40, 40);
                            317
318
319
320
321
322
323
324
                                                             g.drawImage(imgB, i * cellSize + rB, j * cellSize + hB, cellSize, cellSize +dD3d + 14, this);
325
326
327
328
                                              } else if (grid[i][j].obstacle) {
   g.dravImage(imgB, i * cellSize + rB, j * cellSize + hB, cellSize, cellSize +dD3d + 14, this);
                                              }
329
330
                                              if(grid[i][j].isPlatePlaced == true){ //皿は食材の土台にあるべきなので、皿のみの特殊描画処理
    if(grid[i][j].wall == false && grid[i][j].obstacle == false){
        g.drawImage(imgPlate, i * cellSize + rB, j * cellSize + hB + dD3d, cellSize, cellSize, this);
}else(//土台の上なら疑似の建構ズレを考慮の
    g.drawImage(imgPlate, i * cellSize + rB, j * cellSize + hB, cellSize, cellSize, this);
331
332
333
334
335
336
337
338
339
                                              //食材画像を描画
```

```
341
342
343
344
345
346
347
348
                                    }
if (selectedImage != null) {
  int length = (int)(cellSize*0.7); //描画画像の一辺の長さ
  int cenoffSet = (cellSize - length)/2; //通像のウザズが変わったときに、描画位置の調整をするもの
  if(grid[i][j].wall == false & & grid[i][j].obstacle == false) { //台上じゃなかったら
        g.drawImage(selectedImage, i * cS + rB + cenOffSet, j * cS + hB + dD3d + cenOffSet, length, length, ++io)
349
350
351
                                           g.drawlmage(selectedimage, i * c5 * r6 * cendifset, j * c5 * n6 * do3d * cendifset, length, length, this);
}else{ //台上だったち
g.drawlmage(selectedImage, i * c5 * r6 * cenOffSet, j * c5 * h6 * cenOffSet, length, length, this);
352
353
354
355
\frac{356}{357}
                            }
                        ,
//影を落とす
358
359
                       g.drawImage(longShadow, 0+rightBlank, 0+headerBlank, 960, 14, this);
360
                       g.drawImage(imgCounter[(passedFlame/15)%5], 7*cellSize + rB, 8*cellSize + hB, cellSize*2, cellSize + dD3d, this); //カウンターを座標指定して描画
362
                       363
364
365
366
367
                                    //ツールマスに関しての描画
if grid[i][j]].tool != 0){
selectedImage = setToolImage(grid[i][j].tool);
if (grid[i][j].foodBox != 0)
g.dravImage(ingB, i * cellSize + rB, j * cellSize + hB, cellSize, cellSize, this);
368
369
370
371
372
373
374
                                    f
if (selectedImage != null) {
if (grid[i][j].wall == false && grid[i][j].obstacle == false){ //台上じゃなかったら
g.drawImage(selectedImage, i * cS + rB, j * cS + hB + dD3d, cellSize, cellSize, this);
}else( //台上だったら
375
376
377
378
379
380
                                                 g.drawImage(selectedImage, i * cS + rB, j * cS + hB, cellSize, cellSize, this);
                            }
                       }
381
382
                       383
384
385
\frac{388}{389}
390
                        // 向きによってプレイヤーの向きを決定して、プレイヤーを描画
391
                       // 同時にようしてヤーの同せな次足して、プロイヤーを抽画
switch(player.direction){
case 1: ImagePlayer = imgPlayerUp; break;
case 2: ImagePlayer = imgPlayerLeft; break;
case 3: ImagePlayer = imgPlayerDoun; break;
case 4: ImagePlayer = imgPlayerRight; break;
392
393
393
394
395
396
397
                       g.drawImage(ImagePlayer,(int)(player.xAnim*cellSize)-10 + rB, (int)(player.yAnim*cellSize) + hB -10, 80, 80, this);
398
399
                       if(player.hasPlate == true){ //プレイヤーが皿を持っていたら
400
                             401
402
403
404
405
406
407
409
410
                       }
Image heldFoodImage = null;
if(player.hasPlate == true & player.plate.hasAnyFood() == true){ //食材ありの皿を持ってたら
heldFoodImage = setPlateImage(player.plate);
}else if(player.getFood() != null) { //食材ありの皿を持ってたら
heldFoodImage = setFoodImage(player.getFood());
411
412
413
414
415
                       if (heldFoodImage != null) {
    // 少し小さめにしてプレイヤーの上に描画
    int foodSize = (int)(0.55*cellSize);
    int offsetX = (cellSize - foodSize)/2;
    int offsetX = (cellSize - foodSize)/2;
    int offsetY = (cellSize - foodSize)/2;
    if(player.direction == 1) offsetY -= (int)(0.92*cellSize); //上のプロックのパラメータと共通
    else if(player.direction == 2) offsetX -= (int)(0.8*cellSize);
    else if(player.direction == 3) offsetY += (int)(0.72*cellSize);
    else if(player.direction == 4) offsetY += (int)(0.72*cellSize);
    g.drawImage(heldFoodImage, (int)(player.xAnim*cS) + offsetX +rB + 2, (int)(player.yAnim*cS) + offsetY + hB,
    foodSize, foodSize, this); //は微調整項
    */
}
416
417
418
419
420
\frac{420}{421}
423
424
425
426
427
428
429
                       430
431
432
433
                                        player.direction);
436
437
438
                        //装飾品の描画
439
                       g.drawImage(imgCandle, 6*cellSize + rightBlank, 8 * cellSize + headerBlank - 60, 60, 120, this); g.drawImage(imgCandle, 9*cellSize + rightBlank, 8 * cellSize + headerBlank - 60, 60, 120, this);
440
441
442
443
                       g.drawImage(imgUIBG, 55, 750, 250, 90, this); //得点表示の背景
g.drawImage(imgCoin, 0, 730, 120, 120, this); //得点表示の背景
444
445
```

```
g.drawImage(imgUIBG, 655, 750, 250, 90, this); //時間表示の背景
g.drawImage(imgTimer, 868, 730, 120, 120, this); //時間表示の背景
Graphics2D g2d = (Graphics2D) g;
g2d.setFont(customFont);
\frac{446}{447}
448
449
                           g2d.setFont(customFont);
g2d.setColor(Color.WHITE);
int leftTimeAllSec = model.getGameTime();
int leftTimeAllSet = leftTimeAllSec/GO;
int leftTimeSec = leftTimeAllSec/GO;
g2d.drawString(String.format("%d:%02d", leftTimeMin, leftTimeSec), 712, 820);
450
450
451
452
453
454
455
                            double dScore = model.score - scoreAnim;
456
                            double dscore = model.score = scoreanim;
if(dScore != 0.0 && flameScoreGet == 0){ getScore = (int)dScore; flameScoreGet = 1; } //増加スコアエフェクトのトリガー
scoreAnim += dScore * easingFactorText;
if (Math.abs(dScore) < 2.0) { scoreAnim = model.score; }
457
457
458
459
460
461
462
                            String text = Integer.toString((int)scoreAnim);
FontMetrics fm = g2d.getFontMetrics();
int textWidth = fm.stringWidth(text);
int centerX = 202; // 中央上配置したい座標
g2d.drawString(text, centerX - textWidth / 2, 820);
\frac{463}{464}
465
466
                           if(1 <= flameScoreGet && flameScoreGet <= 60){
   text = Integer.toString(getScore);
   if(getScore >= 0){
        s.estColor(new Color(50, 255, 50, 200 - 2*flameScoreGet));
        text = "+"+text;
}
467
468
469
470
471
472
                                   } else {
                                         g.setColor(new Color(255, 50, 50, 200 - 2*flameScoreGet));
473
473
474
475
476
477
478
                                   }
fm = g2d.getFontMetrics();
textWidth = fm.stringWidth(text);
centerX = 175; // 中央に配置したい座標2
g2d.draxString(text, centerX - textWidth / 2, 770 - 2*flameScoreGet/3);
flameScoreGet++;
479
                            }else if(flameScoreGet > 60){ flameScoreGet = 0: }
480
481
481
482
483
484
485
                            //オーダー用紙の描画
for(int i = 0; i < model.orders.length; i++){
    Image orderImage;
486
                                    int orderW = 160;
int orderH = 100;
487
                                   int orderH = 100;
if(model.orders[i] != null){
   Order order = model.orders[i];
   orderImage = setUrderImage(order);
   int targetPos = 20 + i * (orderW +5);
   double dx = targetPos - order.posAnim;
   order.posAnim += dx * easingFactor;
488
488
489
490
491
492
493
494
                                           if (Math.abs(dx) < 1.0) {
   order.posAnim = targetPos;
   if(order.timeAnim == 0){
        order.timeAnim = 1;
}</pre>
495
496
\frac{490}{497}
\frac{498}{499}
500
                                           if(1 <=
\frac{501}{502}
                                                           order.timeAnim) {
                                                   1 <= order.timeAnim) {
  if(30 <= order.timeAnim) {
    dx = order.subOrderPosY - order.subOrderPosYAnim;
    order.subDrderPosYAnim += easingFactor * dx;
    if(Math.abs(dx) < 1.0) {
        order.subOrderPosYAnim = order.subOrderPosY;
    }
}</pre>
503
504
504
505
506
507
508
                                                            ,
int sOPYA = (int)order.subOrderPosYAnim; //文字が長いんで型にキャストして入れ直しint
509
                                                           int interval = cellSize-11;
int wid = 45;
510
                                                           511
512
516
517
                                                           if(order.ingredient2 != null){
   g.setColor(new Color(174, 207, 227));
   g.fillRect((int)order.posAnim+7+interval*1, sOPYA, wid, 90);
   g.drawImage(setCorrectRaw(order.ingredient2), (int)order.posAnim+interval*1 + 8, sOPYA+10, 42,42,
521 \\ 522
                                                                               this);
                                                                   if (setCorrectMethod(order.ingredient2)!=null){
523
                                                                          g.drawImage(setCorrectMethod(order.ingredient2), (int)order.posAnim+interval*1 + 9, sOPYA+50, 42,42,this);
524
                                                           527
528
529
530
                                                                  this);
if(setCorrectMethod(order.ingredient3)!=null){
    g.drawImage(setCorrectMethod(order.ingredient3), (int)order.posAnim+interval*2 + 9, sOPYA+50,
    42,42,this);
                                                          }
534
535
536
                                                    order.timeAnim++:
537
                                           g.drawImage(orderPaper, (int)order.posAnim, 15, orderW, orderH, this);
drawGauge(g, "down", (int)(order.posAnim)+8, 22, orderW-16, 17, order.getRemainingTime()/order.timeLimit);
g.drawImage(orderImage, 42 + (int)order.posAnim, 30, 75, 75, this);
541
542
543
                                  }
544
545
546
547
548
                            if(cont.spacePushing == true){
   if(player.getFrontGrid().tool == 12){player.actionCharge += 0.5;} //フライパンの時は長め
   else player.actionCharge += 1;
549
                            else{ player.actionCharge = 0; }
if(0 < player.actionCharge && player.actionCharge < 60){
550
551
```

```
552
554
                             555
556
557
558
559
560
561
562
563
564
565
\frac{566}{567}
                              //米炊く Yoshida
                                     (int i = 0; i < size[0]; i++) {
    for (int j = 0; j < size[1]; j++) {
        if(grid[i][j].tool == 10 && grid[i][j].hasFood()){
            if(grid[i][j].cookingGauge < 60.0)grid[i][j].cookingGauge += 0.1;
568
569
570
571
572
                                                      573
574
575
576
577
578
579
                                                       gelse if(grid[i][j].cookingGauge >= 60.0){
   if(grid[i][j].food.foodName == "rice"){
        g.drawImage(setToolImage(11), i * cS +rightBlank, j * cS + headerBlank, cS, cS, this);
}
580
581
                                            }
                                   }
582
583
                             for(int i = 0; i < 5; i++){
   if(waiters[i] != null && waiters[i].active == true){
      waiters[i].drawMe(g, this);
}</pre>
587
                                     }
588
589
                             }
590
590
591
592
593
594
595
                             if(passedFlame == 60) AudioManager.playBGM("./sound/music_background2.wav");
                    }
private void drawFloorAll(Graphics g, ImageObserver io){//床
int cS = cellSize; //この中で略語を定義
int rB = rightBlank;
int hB = headerBlank;
for(int i = 0; i < size[0]; i++){
    for(int j = 0; j < size[1]; j++){
        g.setColor(Color.DARK_GRAY);
        if((i + j)%2 == 0){g.drawImage(imgF1, i * cS + rB, j * cS + hB, cS, cS, this);}
        else {g.drawImage(imgF2, i * cS + rB, j * cS + hB, cS, cS, this);}
}
596
597
598
599
602
\frac{603}{604}
                                     }
                           }
605
606
607
608
609
610
                     private void drawGauge(Graphics g, String type, int x, int y, int width, int height, double ratio){//時間ゲージ・料理中ゲージ if(ratio > 1) { System.out.println("Warningu: ロゲージの割合がを超えています100%"); }
                                     cype -- up /(
g.setfolior(Color.WHITE);
g.fillRect(x-2, y-2, width+4, height+4);
g.setfolior(new Color(75, 180, 35));
g.fillRect(x, y, (int)(width*ratio), height);
611
612
613
614
615
616
617
                             }
else if(type == "down"){
   g.setColor(Color.GRAY);
   g.fillRect(x, y, width, height);
   if(ratio >= 0.5) { g.setColor(new Color(75, 180, 35)); }
   else if(ratio >= 0.25) { g.setColor(Color.YELLOW); }
   else{ g.setColor(Color.RED); }
   g.fillRect(x, y, (int)(width*ratio), height);
}
618
619
620
621
622
623
624
625
                     private Image setToolImage(int toolId){//ツールを引数としてその画像を返すID switch(toolId){
626
                                    takes serious control of the total of the total of the total of case 2: return imgCabbageBox; case 3: return imgCabbageBox; case 4: return imgTomatoBox; case 5: return imgCucumberBox; case 6: return imgGucumberBox; case 7: return imgTunaBox; case 8: return imgSquidBox; case 9: return imgSeaweedBox; case 10: return imgBoil; case 11: return imgBoilRice; case 12: return imgPan; case 13: return imgTash; case 14: return null;
627
628
                                                                                                        //ナイフ
//キャベツボックス
629
                                                                                                        //キャベツボックス
//皿ボックス
//トマトボックス
//キュウリボックス
//Жボックス
630
631
632
633
                                                                                                         //マグロボックス
634
635
                                                                                                         //イカボックス
636
                                                                                                        //海苔ボックス
637
638
639
640
                                                                                                         //鍋
                                                                                                        //鋼
//炊けた米
//フライパン
//ごみ箱
641
642
                             return imgErrorBlock;//以外ならエラー14
643
644
                     }
private Image setCorrectRaw(Food foodInfo)(//食材情報を受け取って加工的食材の画像を返す
if(foodInfo.foodName == "cabbage") return imgCabbage;
else if(foodInfo.foodName == "tomato") return imgTomato;
else if(foodInfo.foodName == "cumber") return imgTomato;
else if(foodInfo.foodName == "rice") return imgRice;
else if(foodInfo.foodName == "rice") return imgRice;
else if(foodInfo.foodName == "tuna") return imgTuna;
else if(foodInfo.foodName == "squid") return imgSquid;
else if(foodInfo.foodName == "seaweed") return imgSeaweed;
645
646
647
648
649
650
651
652
653
654
655
656
                      ,
private Image setCorrectMethod(Food foodInfo){//オーダー用。食材の調理方法を受け取って調理法画像返す
657
                             if(foodInfo.foodStatus == 2) return imgKnifeBlack;
else if(foodInfo.foodStatus == 3)return imgBoilBlack;
658
659
                              else return null:
```

```
661
 662
 663
  664
 665
666
667
668
                                                                      else if(foodInfo.foodStatus == 2) return imgTomatoCut;
else return imgErrorBlock;
}else if(foodInfo.foodName == "cucumber"){
    if(foodInfo.foodStatus == 1) return imgCucumber;
    else if(foodInfo.foodStatus == 2) return imgCucumberCut;
    else return imgErrorBlock;
}else if(foodInfo.foodName == "rice"){
    if(foodInfo.foodStatus == 3) return imgRiceBoil;//$\ddot\doodStatus == 3\) return imgRiceBoil;//$\ddot\doodStatus == 1\) return imgRiceBoil;//$\ddot\doodStatus == 1\) return imgRiceBoil;//$\ddot\doodStatus == 1\) return imgTunaCut;
else if(foodInfo.foodStatus == 1\) return imgTunaCut;
else return imgErrorBlock;
}else if(foodInfo.foodStatus == 2\) return imgSquid;
else if(foodInfo.foodStatus == 1\) return imgSquid;
else if(foodInfo.foodStatus == 1\) return imgSquidCut;
else return imgErrorBlock;
  669
 670
 671
 672
673
674
 675 \\ 676
 677
678
 679
  680
 681
682
683
 684
 685
                                                                      else if(foodInfo.foodStatus == 2) return imgSquidCut;
else return imgErrorBlock;
}else if(foodInfo.foodName == "cucumber"){
    if(foodInfo.foodStatus == 1) return imgCucumber;
    else if(foodInfo.foodStatus == 2) return imgCucumberCut;
    else return imgErrorBlock;
}else if(foodInfo.foodName == "seaweed"){
    if(foodInfo.foodStatus == 1) return imgSeaweed;
    else return imgErrorBlock;
}
 686
 687
688
689
690
 691
 692
 693
 694
                                                                          return imgErrorBlock;
  695
                                                    }
public Image setPlateImage(Plate targetPlate){//乗っている食材の画像を返す
Food food[] = new Food[3];
int cabbage = 0; //そのプレートにおいてそれぞれの食材がどうなっているか
int tomato = 0; //存在しない0: 生1: カット、ボイル2:3:
int cucumber = 0;
 699
  700
  701
                                                                        int rice = 0;
int tuna = 0;
int squid = 0;
int seaweed =
  702
 702
703
704
705
706
707
                                                                         //に乗っている具材情報を取得plate
  708
709
                                                                                           振っている別村情報を取得plate
(int i = 0; i < 3; i++){
    food[i] = targetPlate.get(i);
    if(food[i] == null){        break; }//これ以上の食材はないのでbreak
    if(food[i].foodName == "cabbage") cabbage = food[i].foodStatus;
    else if(food[i].foodName == "tomato") tomato = food[i].foodStatus;
    else if(food[i].foodName == "cucumber") cucumber = food[i].foodStatus;
    else if(food[i].foodName == "rice") rice = food[i].foodStatus;
    else if(food[i].foodName == "tuna") tuna = food[i].foodStatus;
    else if(food[i].foodName == "squia") squid = food[i].foodStatus;
    else if(food[i].foodName == "seaweed") seaweed = food[i].foodStatus;
 710
711
712
713
714
  \frac{715}{716}
  717
  718
 719
720
721
722
                                                                         -
//取得した具材情報を利用してにセットする画像を返す。 ImageO未所持未処理カットボイル:,1:,2:,3:,
                                                                      if (rice==0 && tuna==0 && squid==0 && squid==0 && squid==0 & squ
  723
  724
  725
  726
  730
  731
  732
  733
  734
735
736
737
738
                                                                        \frac{739}{740}
 741
742
743
744
745
  \frac{746}{747}
  748
                                                                         else if(cabbage==0 && tomato==0 && cucumber==0 && tuna==0 && seaweed==0){
                                                                                            if(cabbage=0 && tomato==0 && cucumber==0 && tuna==0 && seat//System.out.printいが("")デバック用;//
if(rice == 1 && squid == 0) return imgRice;//加工前
else if(rice == 0 && squid == 1) return imgSquid;//
else if(rice == 3 && squid == 0) return imgRiceBoil;//加工後
else if(rice == 3 && squid == 2) return imgRicSqu;//いかにぎり
else if(rice == 3 && squid == 2) return imgRicSqu;//いかにぎり
 748
749
750
751
  752
  \frac{753}{754}
  755
  756
                                                                         else if(cabbage==0 && tomato==0 && cucumber==0 && seaweed==0){
                                                                                           a if(cabbage=0 && tomato=0 && cucumber=0 && seaweed==0){
//System.out.prin:海鮮丼("")デバック用;//
if(rice == 1 && tuna == 0 && squid== 0) return imgRice;//加工前
else if(rice == 0 && tuna == 1 && squid== 0) return imgRuna;//
else if(rice == 0 && tuna == 0 && squid== 1) return imgSquid;//
else if(rice == 0 && tuna == 0 && squid== 1) return imgSquid;//
else if(rice == 0 && tuna == 2 && squid== 0) return imgRiceBoil;//加工後
else if(rice == 0 && tuna == 2 && squid== 0) return imgRunaCut;//
else if(rice == 0 && tuna == 2 && squid== 2) return imgSquidCut;//
else if(rice == 3 && tuna == 2 && squid== 2) return imgRicTun;//ふかにぎり
else if(rice == 3 && tuna == 2 && squid== 2) return imgRicSqu;//ふかにぎり
else if(rice == 3 && tuna == 2 && squid== 2) return imgRicTunsqu;//
else if(rice == 3 && tuna == 2 && squid== 2) return imgRicTunsqu;//海鮮井
  757
758
759
760
  761
  762
  763
  764
  765
766
767
  768
                                                                        gelse if(cabbage==0 && tomato==0 && tuna==0 && squid==0){
//System.out.printかつば巻き("")デバック用;//
if(rice == 1 && cucumber == 0 && saveed== 0) return imgRice;//加工前
  769
 770
```

```
else if(rice == 0 && cucumber == 1 && seaweed== 0) return imgCucumber;//
else if(rice == 0 && cucumber == 0 && seaweed== 1) return imgSeaweed;//加工後
else if(rice == 3 && cucumber == 0 && seaweed== 0) return imgGiceBoil;//加工後
else if(rice == 0 && cucumber == 2 && seaweed== 0) return imgCucumberCut;//
else if(rice == 3 && cucumber == 2 && seaweed== 0) return imgRicCuc;//
else if(rice == 3 && cucumber == 2 && seaweed== 1) return imgRicSea;//
else if(rice == 3 && cucumber == 2 && seaweed== 1) return imgCucsea;//かつば巻
772
773
774
775
776
777
778
779
780
 781
 782
                                            return imgErrorBlock; //どれにも当てはまらないときエラー
783
784
785
786
787
788
                               public Image setOrderImage(Order order){//オーダーを受け取ってそれぞれの完成品の画像を返す
if("salad".equals(order.orderName)){
    return imgCabTomCuc;
}else if("tekkamaki".equals(order.orderName)){
 789
790
                                            return imgRicTunSea;
}else if("kappamaki".equals(order.orderName)){
                                           }else if("kappamaki".equals(order.orderName)){
   return imgRicCucSa;
}else if("tunanigiri".equals(order.orderName)){
   return imgRicTun;
}else if("ikanigiri".equals(order.orderName)){
   return imgRicSqu;
}else if("kaisendon".equals(order.orderName)){
   return imgRicSqu;
}else if("kaisendon".equals(order.orderName)){
791
 792
 792
793
794
795
 796
 797
 798
 799
                                             else return null:
800
801
802
803
                              }

// を返すわけではなく、この関数を呼び出せば画像を貼れる I mage Yoshida
// に書いても良かったけど頻難になりそうだったので関数化しました。引数が多くですいません。 paint Component
private void setIngredients Inage (int cell Size, int x Anim, int y Anim, int offset X, int offset Y, Plate plate, Graphics g, int
player Direction) {
    Image ingredients [] = new I mage [3];
    int hold Status [] = new int [3];
    Food ing [] = new Food [3];
    int size = cell Size / 3;
    int ing Offset X = 20;
    int ing Offset Y = 20;
    int ing Offset Y = 20;
    int in lint hB = header Blank;
    final int hB = header Blank;
    final int rB = right Blank;
    if (player Direction == 3) (ing Offset Y = 0;)
    for (int i=0; i<3; i++) {
        if (plate. foods[i] != null) {
            ing [i] = plate. foods[i];
            hold Status [i] = plate. foods [i]. food Status;
            ing [i]. food Status = 1; // 生の状態を表示したい調理した食材を皿に置いて、歩あると画像が生になってしまうのでコメントアウトしてます。(1)
    }
804
805
 806
807
808
809
810
811
812
813
813
814
815
816
817
818
819
820
                                            }
821
                                            for(int i=0; i<3; i++){
   if(ing[i] != null){
      ingredients[i] = setFoodImage(ing[i]);
      g.setColor(Color.WHITE);
      g.fillOval(xAnim+ingOffsetX*i+offsetX-3 +rB, yAnim+hB+offsetY-ingOffsetY-2, size+5, size+5);
      g.dravImage(ingredients[i], xAnim+ingOffsetX*i+offsetX +rB, yAnim+hB+offsetY-ingOffsetY, size, size, this);
      ing[i].foodStatus = holdStatus[i];
}</pre>
825
\frac{826}{827}
828
 829
830
831
832
833
                                          }
                              }
                               //時間に関するメソッド Yoshida
public void updateTime(int time){
//System.out.print(time秒+""); 仮のタイマー表示//
834
835
836
 837
837
838
839
840
                               // JFrame を取得するメソッド(でリザルト画面に移るときにゲームのウィンドウを閉じる時に使いますController) Yoshida public JFrame getFrame() {
    return (JFrame) SwingUtilities.getWindowAncestor(this);
841
842
                                 private void loadCustomFont() {
843
                                            try {
    //File fontFile = new File("font/CHEESE10.TTF"); // フォントファイルのパス
    File fontFile = new File("font/ByteBounce.ttf"); // フォントファイルのパス
    customFont = Font.createFont(Font.TRUETYPE_FONT, fontFile).deriveFont(90f); // フォントサイズ24
} catch (IOException | FontFormatException e) {
    System.err.println("フォントの誘み込みに失敗:(" + e.getMessage());
    customFont = new Font("Arial", Font.BOLD, 24); // 失敗時はデフォルトのフォント
 844
844
845
846
847
848
849
850
 851
                               852
853
854
855
856
 857
                                                                     return;
 858
 859
                                           }
 860
                              }
```

• Controller

```
import javax.swing.*;
import javax.awt.*;

import java.awt.*;

class DrawController implements KeyListener {
   protected DrawModel model;
   protected DrawView view;
   protected Player player;
   protected Timer orderTimer;
   public boolean spacePushing =false;
   private Timer gameTimer;
   private Timer gameTimer;
   private MiniCook mainApp;
   private MiniCook mainApp;
   private Timer GameTimer;
   public DrawController(DrawModel m, DrawView v, MiniCook app) {
        model = m;
```

```
view = v;
player = model.getPlayer(); //ここでを取得しておくplayer
mainApp = app;
   19
  20
  21
22
23
24
25
26
27
                     ©Override
public void keyPressed(KeyEvent e) { //それぞれのキーボードの入力を個々で受け取る
int dx = 0, dy = 0;
                               switch (e.getKeyCode()) {
                                      tch (e.getKeyCode()) {
    case KeyEvent.VK_W:
        dy = -1;
    player.direction = 1; //プレイヤーの向きを変更
    model.movePlayer(dx, dy);
    break;
    case KeyEvent.VK_S:
        dy = 1:
  28
  29
30
31
32
33
34
35
                                                dy = 1;
                                               player.direction = 3;
model.movePlayer(dx, dy);
\begin{array}{c} 36\\ 37\\ 38\\ 39\\ 40\\ 41\\ 42\\ 43\\ 44\\ 45\\ 46\\ 65\\ 57\\ 58\\ 96\\ 60\\ 61\\ 62\\ 63\\ 66\\ 66\\ 67\\ 68\\ 69\\ 70\\ 71\\ 72\\ 73\\ 74\\ 475\\ 79\\ 80\\ 81\\ 82\\ 88\\ 88\\ 89\\ 99\\ 99\\ 100\\ 101\\ 102\\ \end{array}
                                                break:
                                       preak;
case KeyEvent.VK_A:
    dx = -1;
    player.direction = 2;
    model.movePlayer(dx, dy);
                                      break;
case KeyEvent.VK_D:
    dx = 1;
    player.direction = 4;
    model.movePlayer(dx, dy);
    break;
case KeyEvent.VK_C:
    cCount++;
    if(cCount >= 5){ cCount = 0; printCredit(); }
    break;
                                                 break;
                                      break;
case KeyEvent.VK_SPACE: //スペースキーでaction
spacePushing =true;
//player.action();
break;
case KeyEvent.VK_J: //キーで拾うJ
player.pick_up();
break;
case KeyEvent.VK_K: //キーで置くK
                                                 break:
                                       case keyEvent. VK_K: //キーで画く k
player.put();
break;
case KeyEvent.VK_I: //デバッグ用にキーで情報を表示する I
model.printInfo();
break;
                                        case KeyEvent.VK_ESCAPE: // キーでゲーム終了ESC
                                       System.exit(0);
                                       break;
                               // 再描画
//view.repaint();
                     orderTimer.stop();
                              }
                       @Override
                              Billue
lic void keyReleased(KeyEvent e) {
switch (e.getKeyCode()) {
case KeyEvent.VK_SPACE: // スペースキーを難したら false にする
spacePushing = false;
                                                break;
                             }
                      @Override
public void keyTyped(KeyEvent e) {}
                       // 以下ゲーム時間に関わるメソッド Yoshida
                      public void startGame(){
//スタート画面、ゲーム画面、リザルト画面を同一ウィンドウで表示する都合上、このメソッド内でオーダータイマーとゲームタイマーを管理 Yoshida
                               model.generateOrder();
                               view.repaint();
                               //こんな文法あるんだね。知らんかった Kome
orderTimer = new Timer(12*1000, new ActionListener() {
 public void actionPerformed(ActionEvent e){
 103
                                                model.generateOrder();
                                                view.repaint();
System.out.println("新しい注文が追加されました!");
 104
 105
106
107
108
109
                                      }
                               });
orderTimer.start();
System.out.println("Timer_ustarted:_u" + orderTimer);
110
111
112
                               if(gameTimer != null) return; //二重起動防止
112
113
114
115
116
117
118
                               gameTimer = new Timer(1000, new ActionListener() {
                                      eTimer = new Timer(1000, new ActionListener() {
  public void actionPerformed(ActionEvent e) {
    if (model.getGameTime() > 0) {
      model.decreaseTime();
      view.updateTime(model.getGameTime());
    if(model.getGameTime() == 10){
        AudioManager se = new AudioManager();
        se.playSE("./sound/music_timer2.wav");
    }else if(model.getGameTime() == 0){
        AudioManager.playBGM("./sound/music_resultSE.wav");
    }
}
 119
 120
 121
 121
122
123
124
125
                                                        }
                                                        s t
gameTimer.stop();
gameTimer = null;
stopOrderTimer();//オーダータイマーも止める
 126
 127
128
```

```
// ゲーム終了時に Result 画面を表示
System.out.println("リザルト画面に切り替えます。"); //デバッグ用
AudioManager.playBoM("./sound/music_result.wav");
mainApp.showResult();
130
131
132
133
134
135
136
137
138
                           gameTimer.start(); // タイマー開始
139
140
140
141
142
143
144
145
                   "\r\n" + //
"--_Credit_---\r\n" + //
"\r\n" + //
"-----\r\n" + //
\frac{146}{147}
148
149
149
150
151
152
153
154
                                                         "\r\n" + //
"\Team_Members>\r\n" + //
"\r\n" + //
"Y__Kometani\r\n" + //
"H.__Yoshida\r\n" + //
                                                         "H._IOShida\r\n" + //
"I\r\n" + //
"S._Suzuki\r\n" + //
"lr\n" + //
"\r\n" + //
"\r\n" + //
"\r\n" + //
"\special_Thanks>\r\n" + //
"\r\n" \ //\n" + //
155
156
157
158
159
160
                                                         "\r\n" + //
"S.__Maejima__(Character_Designer)\r\n" + //
"\r\n" + //
161
162
163
                                                         164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
                                                          "\r\n" + //
"and_All_Players\r\n" + //
"\r\n" + //
"-----\r\n" + //
                                                         "\r\n" + //
"\r\n" + //
"");
```

• Order

```
import javax.swing.*;
import java.aut.*;
import java.aut.event.*;
import java.aut.image.ImageObserver;
             class Order {
                      ss Order {
String orderName;
double posAnim;
int subOrderPosY = 110;
double subOrderPosYAnim = 40;
boolean hasPlate; //表ず皿が必要
public Food ingredient1;
public Food ingredient2;
public Food ingredient3; //材料
public int timeLimit; //制限時間
public int orderIndex;
private DrawModel model;
public int timeAnim = 0;
 10
11
12
13
14
                                                                                      //材料は多くてつまで3
 15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
                       private long createTime; //注文が作成された時間
private Timer expirationTimer; // 自動削除用タイマー
                      this.ingredient1 = new Cabbage();
this.ingredient1.foodStatus = 2;
this.ingredient1.isOnPlate = true;
                                           this.ingredient2 = new Tomato();
this.ingredient2.foodStatus = 2;
this.ingredient2.isOnPlate = true;
                                            this.ingredient3 = new Cucumber();
this.ingredient3.foodStatus = 2;
this.ingredient3.isOnPlate = true;
                                  f
if("tekkamaki".equals(orderName)){
    System.out.println("Order_created: " + this.orderName);
    this.timeLimit = 100;
                                            this.ingredient1 = new Rice();
this.ingredient1.foodStatus = 3;
this.ingredient1.isOnPlate = true;
                                            this.ingredient2 = new Tuna();
this.ingredient2.foodStatus = 2;
this.ingredient2.isOnPlate = true;
                                           this.ingredient3 = new Seaweed():
```

```
this.ingredient3.foodStatus = 1;
this.ingredient3.isOnPlate = true;
 61
62
63
64
65
66
67
71
72
73
74
75
76
77
78
                            f
if("kappamaki".equals(orderName)){
                                     System.out.println("Order_created: " + this.orderName); this.timeLimit = 100;
                                    this.ingredient1 = new Rice();
this.ingredient1.foodStatus = 3;
this.ingredient1.isOnPlate = true;
                                     this.ingredient2 = new Cucumber():
                                     this.ingredient2.foodStatus = 2;
this.ingredient2.isOnPlate = true;
                                     this.ingredient3 = new Seaweed();
this.ingredient3.foodStatus = 1;
this.ingredient3.isOnPlate = true;
                             f
if("tunanigiri".equals(orderName)){
   System.out.println("Orderucreated:u" + this.orderName);
   this.timeLimit = 80;
80
81
82
83
84
85
86
87
88
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
                                    this.ingredient1 = new Rice();
this.ingredient1.foodStatus = 3;
this.ingredient1.isOnPlate = true;
                                     this.ingredient2 = new Tuna();
this.ingredient2.foodStatus = 2;
this.ingredient2.isOnPlate = true;
                             if("ikanigiri".equals(orderName)){
                                    this.ingredient1 = new Rice();
this.ingredient1.foodStatus = 3;
this.ingredient1.isOnPlate = true;
                                     this.ingredient2 = new Squid();
this.ingredient2.foodStatus = 2;
this.ingredient2.isOnPlate = true;
102
103
104
105
106
107
108
                             if("kaisendon".equals(orderName)){
                                    109
110
                                     this.ingredient1 = new Rice();
                                     this.ingredient1 = new Kice();
this.ingredient1.foodStatus = 3;
this.ingredient1.isOnPlate = true;
111
112
113
114
115
                                    this.ingredient2 = new Tuna();
this.ingredient2.foodStatus = 2;
this.ingredient2.isOnPlate = true;
\frac{116}{117}
                                     this.ingredient3 = new Squid();
this.ingredient3.foodStatus = 2;
this.ingredient3.isOnPlate = true;
118
119
120
121
122
123
                             // 制限時間後に削除するタイマーを設定
124
                             expirationTimer = new Timer(timeLimit * 1000, new ActionListener() {
125
126
                                     @Override
                                     wuverriae
public void actionPerformed(ActionEvent e) {
   AudioManager se = new AudioManager();
   se.playSE("./sound/music_timeuporder3.wav");
   model.scoreDown(null);
127
127
128
129
130
131
                                              removeThisOrder();
                                             System.out.println(orderIndex+orderName + "」の制限時間が切れました!");
132
133
                                    }
134
134
135
136
137
138
139
                             s/,
expirationTimer.setRepeats(false); // 一度だけ実行
expirationTimer.start();
                    private void removeThisOrder(){
    model.removeOrder(orderIndex);
140
141
141
142
143
144
145
146
                     public boolean isCompleted(Plate plate) { //オーダー判定処理 Kome
System.out.println("isCompleted()ucalled");
boolean[] matchedIngredients = new boolean[3];
Food[] orderIngredients = {ingredient1, ingredient2, ingredient3};
                            for (int i = 0; i < plate.foods.length; i++) {
  for (int j = 0; j < orderIngredients.length; j++) {
    if(orderIngredients[j] == null){
        matchedIngredients[j] = true;
        continue;
}</pre>
147
148
149
150
151
152
153
154
155
                                             if (!matchedIngredients[j] && plate.foods[i] != null && orderIngredients[j] != null) {
   if (plate.foods[i].getClass() == orderIngredients[j].getClass() &&
        plate.foods[i].foodStatus == orderIngredients[j].foodStatus) {
        matchedIngredients[j] = true;
   }
}
156
157
                                                             break:
158
159
160
161
                                            }
162
                            for (boolean matched : matchedIngredients) {
   if (matched == false) {
      return false;
163
164
165
165
166
167
168
169
170
                             return true;
171
                      // 残り時間を計算
                     public double getRemainingTime(){
172
```

```
long elapsedTimeMill = (System.currentTimeMillis() - createTime);
double elapsedTime = elapsedTimeMill / 1000.0;
return (timeLimit - elapsedTime);
}

// 注文の期限切れ確認
public boolean isExpired() {
return getRemainingTime() <= 0;
}

// タイマーの停止(手動で注文を削除するとき用)
public void cancelTimer() {
expirationTimer.stop();
}

// タイマーの停止(手動で注文を削除するとき用)
public void cancelTimer() {
return getRemainingTime() <= 0;
}

// タイマーの停止(手動で注文を削除するとき用)
public String getOrderName() {
return orderName;
}

// ターマーのでは、
// ターマーの停止(手動で注文を削除するとき用)
public String getOrderName() {
return orderName;
}

// ターマーのでは、
// ターマーの停止(手動で注文を削除するとき用)
public String getOrderName() {
return orderName;
}

// ターマーのでは、
// ターマーの停止(手動で注文を削除するとき用)
public String getOrderName() {
return orderName;
}

// ターマーのでは、
// ターマーの停止(手動で注文を削除するとき用)
public String getOrderName() {
return orderName;
}

// ターマーのでは、
// ターマーの停止(手動で注文を削除するとき用)
public String getOrderName() {
return orderName;
}

// ターマーのでは、
// ターマーの停止(手動で注文を削除するとき用)
public String getOrderName() {
return orderName;
}
```

• Player

```
import javax.swing.*;
import java.awt.*;
import java.awt.event.*;
           class Player {
   public int x; //プレイヤーの座標
   public int y; //プレイヤーの座標
   public double xAnim; //アニメーション用の座標変数
   public double yAnim;
   public Plate plate;
   public Plate plate;
   public boolean hasPlate;
   private DrawModel model;
   private DrawModel model;
   private DrawController cont;
   private DrawWowlev view;
   private double playerSpeed = 0.2;
   public int direction; //プレイヤーの向きの順でWASD1上()左,2()下,3()右,4()
   private Grid[][] grid;
   public boolean moving = false;
   public float actionCharge = 0;
 10
12
13
14
15
16
17
18
 19
20
21
22
23
24
25
                      public Player(int x, int y, DrawModel model, Grid[][] grid) {
                                lic Player(int x, int y, DrawModel model, Gr
this.x = x;
this.y = y;
this.xAnim = x;
this.yAnim = y;
this.food = null;
this.plate = null;
this.model = model;
this.direction = 1; //初期の向きは上に設定してある
this.grid = grid;
this.hasPlate = false;
\frac{26}{27}
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
                      }
public int getX() { return x; }
public int getY() { return y; }
public Food getFood() { return food; }
public double getPlayerSpeed() { return playerSpeed; }
public void setController(DrawController cont) { this.cont = cont; }
public void setView(DrawView view) { this.view = view; }
                      ^{41}_{42}
43
44
                                            int newY = y + dy;
//障害物と重ならないように障害物である場合、移動を棄却する()
 45
                                          46
47
 \frac{48}{49}
 \frac{50}{51}
\begin{array}{c} 52\\ 53\\ 54\\ 56\\ 65\\ 7\\ 58\\ 89\\ 601\\ 62\\ 63\\ 64\\ 666\\ 67\\ 71\\ 72\\ 73\\ 74\\ 77\\ 78\\ 81\\ 82\\ 83\\ 84\\ 88\\ 88\\ 86\\ \end{array}
                      public Grid getFrontGrid(){ //自分が立っている目の前のオブジェクトを返す関数Grid if(direction == 1) return grid[x][y-1]; else if(direction == 2) return grid[x-1][y]; else if(direction == 3) return grid[x][y+1]; else if(direction == 4) return grid[x+1][y]; return null; }
                      public void action() {
   Grid frontGrid = getFrontGrid();
   if(frontGrid.tool == 0){
      System.out.printf("アクションができる場所ではありません\n");
      return;
      .
                                 f

/*if (this.food == null) {

System.out.println食材を持っていません!("");

return;
                                J*/
if(food != null){
   if(frontGrid.tool == 1 && food.canCut == true){
      AudioManager se = new AudioManager();
      se.playSE("./sound/music_cut2.wav");
      food.foodStatus = 2;
                                                     //food.cut();
System.out.printf("食材を切りました\n");
```

```
se.playSE("./sound/music_boil.wav");
frontGrid.food = food;
                                                                                                                       food = null;
                                                                                                                     System.out.println("釜に米を入れました。");
     90
 91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
                                                                                                    return;
                                                               else if(frontGrid.tool == 10 && frontGrid.hasFood() && frontGrid.cookingGauge >= 60){
                                                                                                  (FrontGrid.tool == 10 && FrontGrid.hasFood() &
System.out.println("城庁大米をとります。");
frontGrid.food.foodStatus = 3;
food = frontGrid.food;
frontGrid.food = null;
frontGrid.cookingGauge = 0; //米をとったらリセット
                                                                                                    return;
 \frac{104}{105}
                                          public void pick_up() {
    Grid currentGrid = grid[x][y]; //自分の足元のグリッド
    Grid frontGrid = getFrontGrid(); //自身の目の前のグリッド
    System.out.printf("frontGrid_=u(Xd,Xd))n", frontGrid.x, frontGrid.y);
    if(frontGrid.tool == 10) { //kmp6kfv2oj=2vct.mgkfdをとれない。 Yoshida
    if(hasPlate == false && frontGrid.tool == 3) { //kmp6kfv2oj=2vct.mgkfdeをれない。 Yoshida
    if(hasPlate == false && frontGrid.tool == 3) { //kmp6kfv2oj=2vct.mgkfdeventyplayer かつ目の前マスが皿ボックス
        AudioManager se = new AudioManager();
        se.playSE("./sound/music_have.wav");
        System.out.println("mm2kfb3kl.t");
        plate = new Plate(): //ここでお加をもった
        hasPlate == true; //mm2kfv2
    }
}else if(hasPlate == false && frontGrid.isPlatePlaced == true) { //kmp2kfv2oj=2vct.mg/scaper かつ目の前マスに皿がある
        AudioManager se = new AudioManager();
        se.playSE("./sound/music_have.wav");
        hasPlate = true; //mckfv2
        plate = frontGrid.plate;
        frontGrid.splatePlaced = false; //目の前マスから皿を回収
        frontGrid.plate = null;
        //frontGrid.food = null;
    }
} else if (food == null) f // 何わがついない場合
 106
 107
 112
 113
 114
115
116
117
118
 119
 120
 121
 121
122
123
124
125
 126
                                                              }
else if (food == null) { // 何も持っていない場合
    if(frontGrid.foodBox == 1){ //目の前のマスがキャベツボックスだったら
        AudioManager se = new AudioManager();
        se.playSE("./sound/music_have.wav");
        this.food = new Cabbage();
        System.out.println("キャベツボックスから取得しました!");
}
 127
 128
 129
 130
131
132
133
134
                                                                           this.food = new Cabbage();
System.out.println("キャベツボックスから取得しました!");
}
else if(frontGrid.foodBox == 2){ //目の前のマスがトマトボックスだったら
    AudioManager se = new AudioManager();
    se.playSE("./sound/music_have.wav");
    this.food = new Tomato();
System.out.println("トマトボックスから取得しました!");
}else if(frontGrid.foodBox == 3){ //目の前のマスがきゅうりボックスだったら
    AudioManager se = new AudioManager();
    se.playSE("./sound/music_have.vav");
    this.food = new Cucumber();
System.out.println("きゅうりボックスから取得しました!");
}else if(frontGrid.foodBox == 4){ //目の前のマスが米ボックスだったら
    AudioManager se = new AudioManager();
    se.playSE("./sound/music_have.vav");
    this.food = new Rice();
System.out.println("ライスボックスから取得しました!");
}else if(frontGrid.foodBox == 5){ //目の前のマスがまぐろボックスだったら
    AudioManager se = new AudioManager();
    se.playSE("./sound/music_have.wav");
    this.food = new Tuna();
System.out.println("マグロボックスから取得しました!");
}else if(frontGrid.foodBox == 6){ //目の前のマスがいかボックスだったら
    AudioManager se = new AudioManager();
    se.playSE("./sound/music_have.wav");
    this.food = new Squid();
System.out.println("イカボックスから取得しました!");
}else if(frontGrid.foodBox == 7){ //目の前のマスがのりボックスだったら
    AudioManager se = new AudioManager();
    se.playSE("./sound/music_have.wav");
    this.food = new Saquid();
System.out.println("イカボックスから取得しました!");
}else if(frontGrid.foodBox == 7){ //目の前のマスがのりボックスだったら
    AudioManager se = new AudioManager();
    se.playSE("./sound/music_have.wav");
    this.food = new Saquid();
System.out.println("のりボックスから取得しました!");
}else if(frontGrid.foodBox == 7){ //目の前のマスがのりボックスだったら
    AudioManager se = new AudioManager();
 135
 136
137
138
139
140
141
 \frac{142}{143}
 144
 145
146
147
148
149
 150
 151
 152
 153
154
155
156
 157
 158
 159
 160
 161
162
163
164
165
                                                                                                                                                                                                                                  // 現在のマスに食材がある場合
                                                                                  else if (frontGrid.hasFood()) {
 166
                                                                                                  s if (frontGrid.hasFood()) { / 東佐のマん
AudioManager se = new AudioManager();
se.playSE("./sound/music_have.vav");
food = frontGrid.food; // 食材を拾う
frontGrid.food = null; // マスから食材を消す
System.out.println("食材を持ち上げました!");
 167
 168
169
170
171
172
                                                                                 } else {
                                                                                                  --- C
System.out.println("ここには食材がありません。");
 173
174
175
176
177
178
179
                                              public void put(){
                                                              lic void put(){
Grid currentGrid = grid[x][y];
Grid frontGrid = getFrontGrid();
if(frontGrid.tool == 13){
    hasPlate = false;
    plate = null;
    food = null;
    System.out.println("ゴミ箱に捨てられました");
}
 \frac{180}{181}
 182
 183
 184
185
186
187
                                                                       //皿を持っていて 目の前がツールマスではなくカウンターでもない、目の前に食材なし
 188
                                                              //皿を持つていて 日の前がケールぐんではなくカワンターでもない、日の前に良材なし
else if((hasPlate) && frontGrid.tool==0 && frontGrid.isCounter==false && frontGrid.food==null) {
  hasPlate = false; //皿を捨てる置く //
  frontGrid.isPlatePlaced = true;
  frontGrid.plate = plate; //ブレイヤーが持っている皿をグリッドにわたす
  plate = null; //ブレイヤーは皿を離す
 189
 190
 191
 192
193
194
195
                                                               /
//皿を持ってて、目の前はツールマスではなくカウンターでもない、目の前に食材がある
else if((hasPlate) && frontGrid.tool==0 && frontGrid.isCounter==false && frontGrid.food!=null){
plate.add(frontGrid.food); //まず最初に自分のにを追加する。platefood
frontGrid.isPlatePlaced = true;
 196
 197
198
```

```
frontGrid.plate = plate;
                                                  plate = plate;
plate = null;
hasPlate = false;
frontGrid.food = null;
System.out.printf("デバッグ\n");
//plate.printPlate();
200
201
202
203
                                         }
/* else */if(hasPlate==true && frontGrid.isCounter==true) { //いま皿を持っていて かつ目の前がカウンター
System.out.println("カウンターに提供します。");
hasPlate = false; //皿を捨てる置く()
frontGrid.plate = plate;
207
208
209
                                                  frontGrid.plate = plate;
plate = null;
frontGrid.isPlatePlaced = true;
Order currentOrder = model.matchOrder(frontGrid.plate);
if(currentOrder == null){// 料理が失敗だったとき
System.out.println("失敗作が提出されました");
210
210
211
212
213
214
215
                                                            System.out.println("失敗作が提出されました");
model.scoreDown(currentOrder);
//失敗した場合、回収されて減点
view.addWaiter(view.setPlateImage(frontGrid.plate));
hasPlate = false;
plate = null;
frontGrid.food = null;
frontGrid.jate = null;
frontGrid.isPlatePlaced = false;
return:
\frac{216}{217}
218
219
220
221
222
                                                223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
                                                 }
                                       if(food != null) { // 既に食材を持っている場合
    if(frontGrid.isPlatePlaced == true){ //目の前のマスに皿が置いてある場
        System.out.println("皿に食材を追加します!");
        frontGrid.plate.add(food);
        food = null;
        Order currentOrder = model.matchOrder(frontGrid.plate);
        System.out.println("皿に食材を追加しました!");
        frontGrid.plate.printPlate();
    }else if (ifrontGrid.hasFood() && frontGrid.tool == 0) { // 現在のマスが空いている場合かつそのマスがツールマスではない
        frontGrid.food = food; // 食材を置く
        food = null; // 手持ちを空にする
        System.out.println("皿がないマスに対して食材を置きました!");
    }
238
239
240
241
241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
                                                              .
if(frontGrid.hasFood() == true) System.out.println("ここには既に食材があります!");
if(frontGrid.tool != 0) System.out.printf("ここはツールなので食材は置けません");
                            }
```

• Start

```
import javax.swing.*;
import java.awt.*;
import java.awt.event.ActionEvent;
import java.awt.event.ActionListener;
           import java.io.File;
import java.io.IOException;
           public class Start extends JPanel {
   private MiniCook mainApp;
   private Font pixelFont;
10
11
                   public Start(MiniCook mainApp) {
    this.mainApp = mainApp; // MiniCook のインスタンスを保持
12
13
14
15
16
17
18
                            setLayout(new GridBagLayout()); // グリッドバッグレイアウトを使用
                            GridBagConstraints gbc = new GridBagConstraints();
                           gbc.gridx = 0;
gbc.gridy = 0;
gbc.anchor = GridBagConstraints.CENTER;
gbc.insets = new Insets(20, 0, 20, 0); // 上下の余白を設定
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
                            // フォントを読み込む
loadCustomFont();
                            // タイトルラベルの作成
JLabel titleLabel = new JLabel("MiniCook", SwingConstants.CENTER);
titleLabel.setFont(pixelFont.deriveFont(100f));
add(titleLabel, gbc); // ラベルを追加
29
30
31
32
33
34
35
                             // スタートボタンの作成
                            // メダートボダンのJFRW
JButton startButton = new JButton("Start");
startButton.setFont(pixelFont.deriveFont(80f));
startButton.addActionListener(new ActionListener() {
                                     @Override
                                            erriue
lic void actionPerformed(ActionEvent e) {
AudioManager se = new AudioManager();
se.playSE("./sound/music_start2.wav");
mainApp.startGame(); // MiniCook の startGame() を呼び出し
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
                            gbc.gridy = 1; // ボタンを行目に配置2
add(startButton, gbc); // ボタンを追加
                   private void loadCustomFont() {
                                    Tile fontFile = new File("font/ByteBounce.ttf"); // フォントのパス
pixelFont = Font.createFont(Font.TRUETYPE_FONT, fontFile);
50
```

• Result

```
import javax.swing.*;
import java.awt.*;
import java.awt.event.ActionEvent;
import java.awt.event.ActionListener;
import java.io.File;
import java.io.IOException;
                          public class Result extends JPanel {
                                           private MiniCook mainApp;
private Font pixelFont;
private Font pixelFont;
private int score;
private Jlabel scoreLabel; // スコア表示用ラベル
private Jlabel starLabel;
  10
11
12
13
14
15
                                            public Result(MiniCook mainApp) {
\begin{array}{c} 166 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\ 168 \\
                                                                 this.mainApp = mainApp;
this.score = 0; // 初期スコア
                                                                setLayout(new GridBagLayout());
GridBagConstraints gbc = new GridBagConstraints();
gbc.gridx = 0;
gbc.anchor = GridBagConstraints.CENTER;
gbc.insets = new Insets(20, 0, 20, 0);
                                                                 // フォントを読み込む
loadCustomFont();
                                                                 JLabel titleLabel = new JLabel("Result", SwingConstants.CENTER);
titleLabel.setFont(pixelFont.deriveFont(100f));
gbc.gridy = 0;
add(titleLabel, gbc);
                                                                 // スコアラベル (変更可能にする)
scoreLabel = new JLabel("Score<sub>U:U</sub>" + score, SwingConstants.CENTER);
scoreLabel.setFont(pixelFont.deriveFont(80f));
gbc.gridy = 1;
add(scoreLabel, gbc);
                                                                 starLabel = new JLabel(getStarRating(score), SwingConstants.CENTER);
starLabel.setFont(new Font("Meiryo", Font.PLAIN, 80));
gbc.gridy = 2;
add(starLabel, gbc);
                                                                 // ボタンパネル
JPanel buttonPanel = new JPanel(new FlowLayout(FlowLayout.CENTER, 20, 10));
                                                                 JButton restartButton = new JButton("Restart");
restartButton.setFont(pixelFont.deriveFont(50f1);
restartButton.setPreferredSize(new Dimension(300, 100));
restartButton.addActionListener(e -> mainApp.restartGame());
                                                                  JButton closeButton = new JButton("Close")
                                                                 closeButton.setFont(pixelFont.deriveFont(50f));
closeButton.setPreferredSize(new Dimension(300, 10
closeButton.addActionListener(e -> System.exit(0))
                                                                 buttonPanel.add(restartButton);
buttonPanel.add(closeButton);
                                                                 gbc.gridy = 3;
add(buttonPanel, gbc);
                                            // スコアを更新するメソッド(ゲーム終了時に呼び出す)
public void updateScore(int newScore) {
this.score = newScore;
scoreLabel.setText("Score_:'_u" + score);
                                                                  starLabel.setText(getStarRating(score));
repaint(); // 再描画
revalidate(); // レイアウト更新
                                               // スコアに応じた星の文字列を返す
                                            // スコアに応じた星の文字列を返す
private String getStarRating(int score) {
    if (score >= 500) {
        return "\u2605_\u2605_\u2605"; // ★★★
} else if (score >= 250) {
        return "\u2605_\u2605_\u2606"; // ★★☆
} else if(score > 0){
        return "\u2605_\u2606_\u2606"; // ★☆☆
} else if(score > 0){
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
                                                                 } else{
                                                                                     return "\u2606⊔\u2606⊔\u2606"; // ☆☆☆
                                            private void loadCustomFont() {
                                                               vate void location:
try {
    File fontFile = new File("font/ByteBounce.ttf");
    pixelFont = Font.createFont(Font.TRUETYPE_FONT, fontFile);
} catch (Exception e) {
    e.printStackTrace();
    pixelFont = new Font("Monospaced", Font.PLAIN, 24);
}
```

Meal

```
import java.swing.*;
import java.aut.*;
import java.aut.event.*;
import java.aut.image.ImageObserver;
            abstract class Food { //継承させる前提のクラスabstract public int foodStatus; //食材のステータスの変数。何もしてなければになる0 カットしてたら1 public boolean canCut; //その食材が加勢つ能なら true public boolean canHeat; //その食材が加勢可能なら true public boolean is OnPlate; //皿の上に置かれているか public String foodName; public abstract int getFoodStatus();
                   public Food(int foodStatus, boolean canCut, boolean canHeat, boolean isOnPlate, String foodName){
    this.foodStatus = foodStatus;
    this.canCut = canCut;
    this.canHeat = canHeat;
    this.isOnPlate = isOnPlate;
    this.foodName = foodName;
}
 14
 15
 16
 17
18
19
20
21
22
 23
24
            //クラスを継承したクラスですFoodCabbage
            class Cabbage extends Food{
   public Cabbage(){
      super(1, true, false, false, "cabbage");
 25
26
27
28
29
                  - - - o - /;
public int getFoodStatus(){ //そのフードの状態を返す
return foodStatus;
}
 30
 31
32
33
34
35
36
37
38
            //クラスを継承したクラスですFoodTomato
class Tomato extends Food{
public Tomato(){
                           super(1, true, false, false, "tomato");
                    public int getFoodStatus(){ //そのフードの状態を返す return foodStatus;
 39
40
41
42
43
44
45
            /
//クラスを継承したクラスですFoodcucumber
class Cucumber extends Food{
public Cucumber(){
                 public int getFoodStatus(){ //そのフードの状態を返す return foodStatus; }
 46
47
48
49
50
51
53
54
55
66
67
62
63
64
66
66
67
70
77
77
77
77
77
77
77
            -
}
//クラスを継承したクラスですFoodrice
            class Rice extends Food{
   public Rice(){
                 public int getFoodStatus(){ //そのフードの状態を返す return foodStatus; }
            }
//クラスを継承したクラスですFoodtuna
           class Tuna extends Food{
   public Tuna(){
                            super(1, true, false, false, "tuna");
                   public int getFoodStatus(){ //そのフードの状態を返す return foodStatus;
            class Squid extends Food{
  public Squid(){
      super(1, true, false, false, "squid");
}
                    public int getFoodStatus(){ //そのフードの状態を返す return foodStatus;
                   }
            「//クラスを継承したクラスですFoodseaweed
class Seaweed extends Food{
public Seaweed(){
super(1, false, false, true, "seaweed");
 80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
                    public int getFoodStatus(){ //そのフードの状態を返す return foodStatus;
          }
class Plate {
   Food[] foods;
   public Plate(){
     foods = new Food[3];
     foods[0] = null;
     foods[1] = null;
     foods[2] = null;
}
92
93
94
95
96
97
98
99
                    public boolean hasAnyFood(){ //になにかし5乗っているかのplateboolean if(foods[0]==null && foods[1]==null && foods[2]==null) return false; else return true;
100
                    public void add(Food food) {
  for (int i = 0; i < foods.length; i++) {
    if(foods[i] != null &k foods[i].foodName == food.foodName) { continue; }
    if (foods[i] == null) {
      foods[i] = food;
      System.out.println(food.foodName + "」を皿に追加しました。");
      return; // 追加が完了したら終了
    }
101
102
103
104
105
106
107
108
109
                             .
System.out.println("これ以上皿に食材を追加できません。");
```

```
\frac{112}{113}
                       public Food get(int i){
  if(i<0 || i>=foods.length){return null;}
\frac{114}{115}
                                  else return foods[i];
116
117
118
119
                       public void printPlate(){
   String state = "";
   System.out.print("現在、皿の上には:");
   for(int i=0; ic3; i++){
        if(foods[i] != null) {
 120
 121
 122
                                               (!foodsil) := nuil) {
    switch(foods[i].foodStatus) {
        case i: state = "raw"; break;
        case 2: state = "cut"; break;
        case 3: state = "grilled"; break;
}
 123
123
124
125
126
127
128
                                                    System.out.print(foods[i].foodName+"("+ state + ")" + "u");
 129
130
                                         }
131
                                  System.out.print("\n");
return :
131
132
133
134
135
136
                       public boolean matchesOrder(Order order) {
   boolean[] matchedIngredients = new boolean[3];
   Food[] orderIngredients = {order.ingredient1, order.ingredient2, order.ingredient3};
 137
 138
                                           // 皿にある食材の数をカウント
 139
                                 int plateFoodCount = 0;
for (int i=0; i<3; i++) {
    if (foods[i] != null) {
        plateFoodCount++;
140
141
142
143
 144
                                 }
145
 146
                                 // オーダーの食材リストを作成
int orderFoodCount = 0;
for (int i=0; i<3; i++) {
   if (orderIngredients[i] != null) {
    orderFoodCount++;
147
148
149
150
151
152
153
154
                                          }
                                }
 155
156
157
158
159
                                  // オーダーの食材数と皿の食材数が違ったら不一致とする****
                                 // オーヌーの取り致く皿の取り致い違うたらか、致くりる****
if (plateFoodCount) {
    System.out.println("料理の食材数がオーダーと一致しません。");
    return false;
 160
                                for (int i = 0; i < foods.length; i++) {
  for (int j = 0; j < orderIngredients.length; j++) {
    if(orderIngredients[j] == null){
        matchedIngredients[j] = true;
        continue;
}</pre>
 161
 162
163
164
165
166
                                                   }

if (!matchedIngredients[j] && foods[i] != null) {
    if (foods[i].getClass() == orderIngredients[j].getClass() &&
        foods[i].foodStatus == orderIngredients[j].foodStatus) {
        System.out.println(foods[i].foodName + "は満たされました。");
        matchedIngredients[j] = true;
        break;
    }
 \frac{167}{168}
 169
 170
171
172
173
174
 175
                                         }
                                 }
 176
 177
177
178
179
180
181
182
                                 for(int i=0; i<matchedIngredients.length; i++){
    if(matchedIngredients[i]){
        System.out.println("材料"+(i+1)+"は満たされいます。");
                                           else System.out.println("材料"+(i+1)+"は満たされいません。");
 183
                                 }
 \frac{184}{185}
                                 for (boolean matched : matchedIngredients) {  \\
                                           (boolean mattened : mattenedingredients) t

if (!matched) {

    System.out.println("料理は未完成です。");

    return false;
 186
187
188
189
190
                                 .
System.out.println("料理は完成しています。");
return true;
 191
 192
193
194
195
```

• Other

```
8:,のり
9:,なべ
10:,なべ米
11:(),フライパン
12:ゴミ箱
\frac{24}{25}
\frac{26}{27}
28
                 13:キャンドル特に効果はない
29
30
31
32
33
                */
public int tool = 0;
boolean isCounter; //そのマスがカウンターではないか
public float cookingGauge = 0; //ご飯を炊いてる時のゲージ用 Yoshida
34
35
36
37
38
39
40
                public Grid(int x, int y) { this.x = x; this.y = y; }
                public boolean hasFood() { return food != null; }
41
42
43
44
45
46
47
48
49
               ss Waiter{
int waitY = 1000; //ウェイタースタンパイ位置
int receiveY = 710; //ウェイターが料理を受け取る場所
boolean active = true;
private Image ingWaiterUp;
private Image ingWaiterUp;
private Image ingWaiterDown;
DrawModel model;
static final int xRefore = 470;
static final int xAfter = 470;
static final int counterX = 7;
static final int counterY = 8;
final int headerBlank;
final int rightBlank;
final int rightBlank;
final int rightBlank;
fint playerX;
         class Waiterf
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
                 int playerX;
int flame = 0;
                61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
                public void drawMe(Graphics g, ImageObserver io){
                       final int CS = cellsize;
if(0 <= flame && flame < comeFlame){
    g. drawImage(imgMeal, playerX*cellsize + rightBlank, counterY*cellsize + headerBlank, cS, cS, io);
    //仮で正方形を補画してるよ
    g. setColor(Color.pink);
    g. drawImage(imgWaiterUp,xBefore-10, (int)((waitY*(comeFlame-flame) + receiveY*flame)/comeFlame) + rightBlank, cS
                       +20, cS+20, io);
flame++;
}else if(comeFlame <= flame && flame < 2*comeFlame){
77
78
                       79
80
81
82
83
84
85
                       }else if(flame == 3*comeFlame){ active = false; flame++;}
86
```

AudioManager

```
import javax.sound.sampled.*;
       import java.io.File;
import java.io.IOException;
       public class AudioManager {
    private static Clip bgmClip;
7
8
9
10
             // を再生BGM
             public static void playBGM(String filePath) {
   stopBGM(); // 既存のを停止BGM
11
12
                        file soundFile = new File(filePath);
                        File soundFile = new File(filePath);
AudioInputStream audioStream = AudioSystem.getAudioInputStream(soundFile);
bgmClip = AudioSystem.getClip();
bgmClip.open(audioStream);
bgmClip.loop(Clip.LOOP_CONTINUOUSLY); // ループ再生
bgmClip.start();
13
14
15
16
17
                  18
19
                  }
20
21
22
23
24
             // 停止BGM
            // HRLBGM
public static void stopBGM() {
   if (bgmClip != null && bgmClip.isRunning()) {
      bgmClip.stop();
   ,
25
26
27
28
29
30
31
32
33
            // を再生SE
public static void playSE(String filePath) {
   new Thread(() -> {
                       34
35
36
37
38
39
40
                             e.printStackTrace();
```

文責:米谷・鈴木・吉田